

久米南町町民意識調査結果

第6次久米南町振興計画

令和3年12月

久米南町

目次

I 調査概要	3
1 調査の概要.....	3
(1) 調査目的.....	3
(2) 調査対象及び調査方法.....	3
(3) 回収結果.....	3
2 本調査報告書の基本的な事項.....	4
(1) 数値の基本的な取り扱いについて.....	4
II 回答者の属性	7
1 あなたご自身のことについて.....	7
(1) 性別.....	7
(2) 年齢.....	7
(3) 現在の婚姻状況.....	8
(4) 子どもの有無.....	8
(5) 世帯構成.....	8
(6) 居住地区.....	9
(7) 居住歴.....	9
(8) 居住年数.....	10
(9) 職業.....	10
III 調査結果	13
1 町への愛着度、定住意向について.....	13
(1) まちへの愛着度.....	13
(2) まちへの定住意向.....	16
2 町の施策への満足度と重要度について.....	24
(1) 満足度.....	24
(2) 重要度.....	29
(3) 優先度(満足度と重要度の相関).....	34
3 町の目指すべきまちづくり等について.....	37
(1) 目指すべきまちづくり.....	37
(2) 生活するうえで、不安なこと.....	41
4 調査結果のまとめ.....	43
IV 自由記述、その他記述一覧等	49
自由記述、その他記述一覧等.....	49

(1) 町への愛着度と定住意向について.....	49
(2) 目指すべきまちづくり等について.....	49
(3) 自由意見について.....	51

V 資料..... 57

1 居住地区別結果.....	57
(1) 満足度.....	57
(2) 重要度.....	61
2 調査票.....	65

I 調査概要

I 調査概要

I 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和4年度から始まる「第6次久米南町振興計画」及び「第3次久米南町男女共同参画基本計画」の策定にあたり、久米南町にお住いの方を対象に、町民の生活実態に関する意識、多様化する町民ニーズ、行政課題を把握するため、町が推進している施策の満足度や町政へのご意見などをお伺いし、計画策定の基礎資料とするために、また、住民の皆様の声を計画策定に反映するため実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	久米南町にお住いの16歳以上の町民
配布数	1,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	令和3年7月2日～7月18日
調査地域	町内全域

(3) 回収結果

配布数	1,000		
回収数	390	回収率	39.0%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、内訳の計がちょうど100.0とならない場合があります。
- ②基数となるべき実数(回答者数)は、“N=〇〇〇”として掲載し、各比率はNを100%として算出しています。
- ③複数回答の設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い設問であることから、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現している場合があります。
- ⑤調査対象者の属性については、調査票記入時点の年齢(2021年7月)で集計してあります。

II 回答者の属性

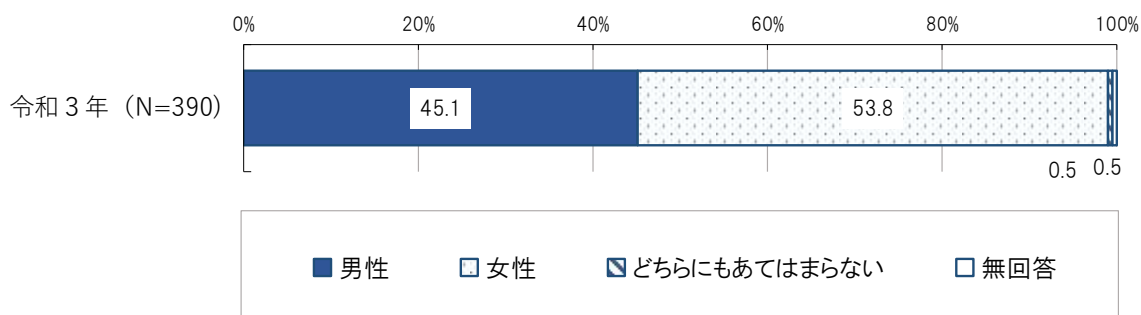
II 回答者の属性

1 あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

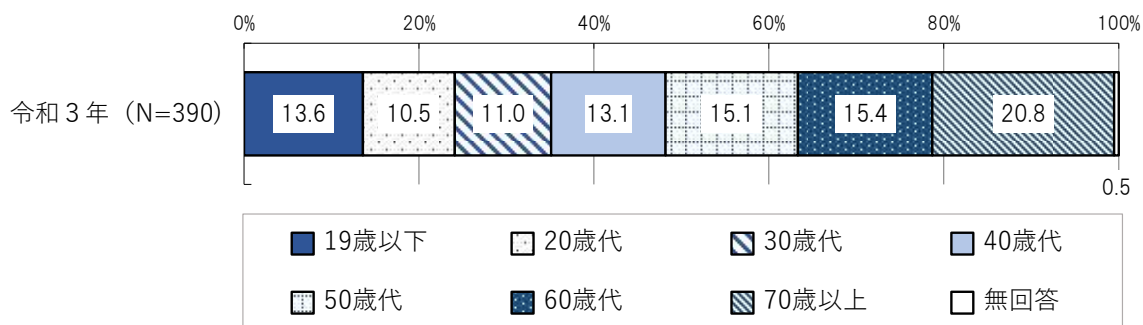
(1) 性別

回答者の性別構成については、「女性」が53.8%、「男性」が45.1%となっています。



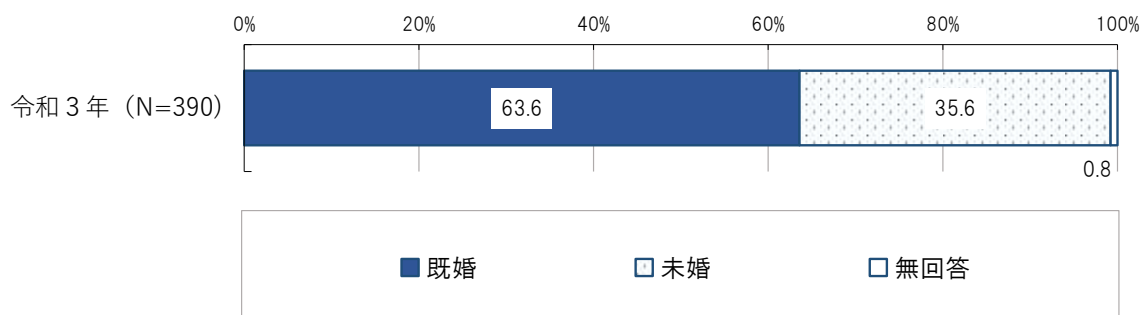
(2) 年齢

回答者の年齢構成については、「70歳以上」が20.8%と最も多く、次いで「60歳代」(15.4%)、「50歳代」(15.1%)、「19歳以下」(13.6%)、「40歳代」(13.1%)、「30歳代」(11.0%)、「20歳代」(10.5%)の順となっています。



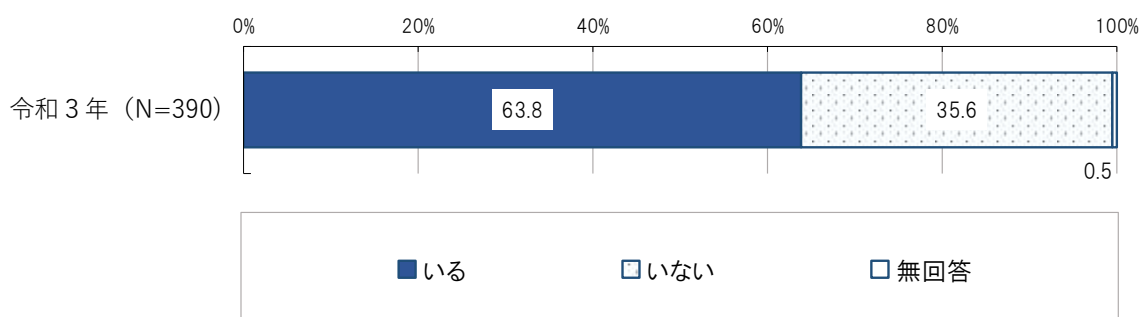
(3) 現在の婚姻状況

回答者の婚姻状況については、「既婚」が63.6%、「未婚」が35.6%となっています。



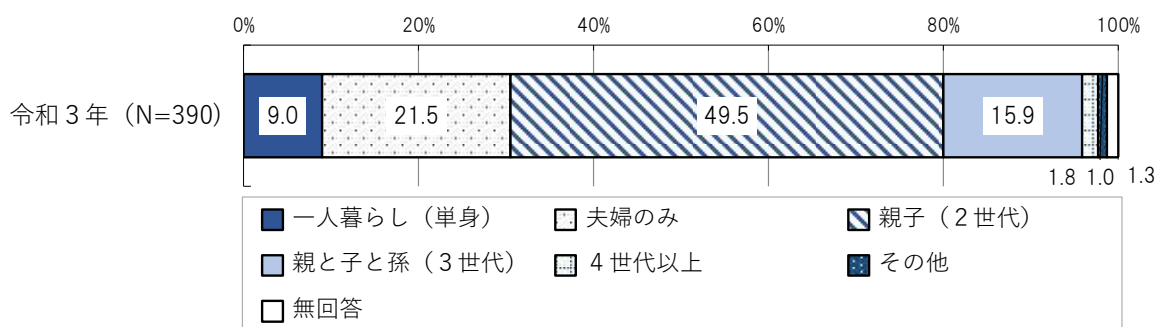
(4) 子どもの有無

回答者の子どもの有無については、「いる」が63.8%、「いない」が35.6%となっています。



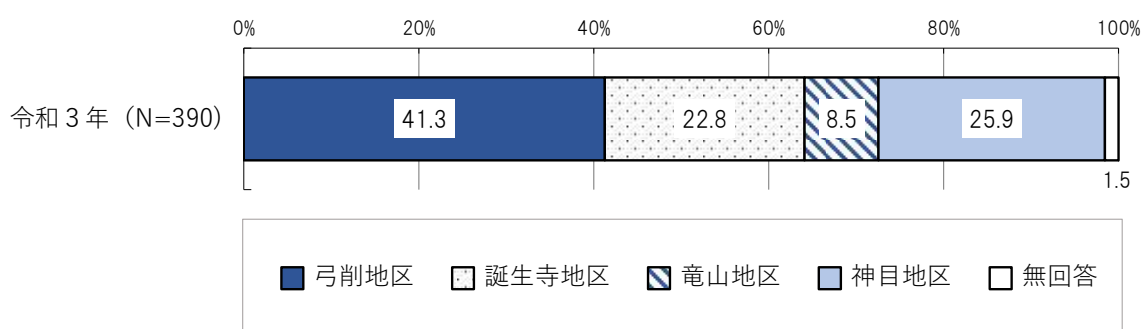
(5) 世帯構成

回答者の世帯構成については、「親子(2世代)」が49.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ」(21.5%)、「親と子と孫(3世代)」(15.9%)などの順となっており、「一人暮らし(単身)」が9.0%となっています。



(6) 居住地区

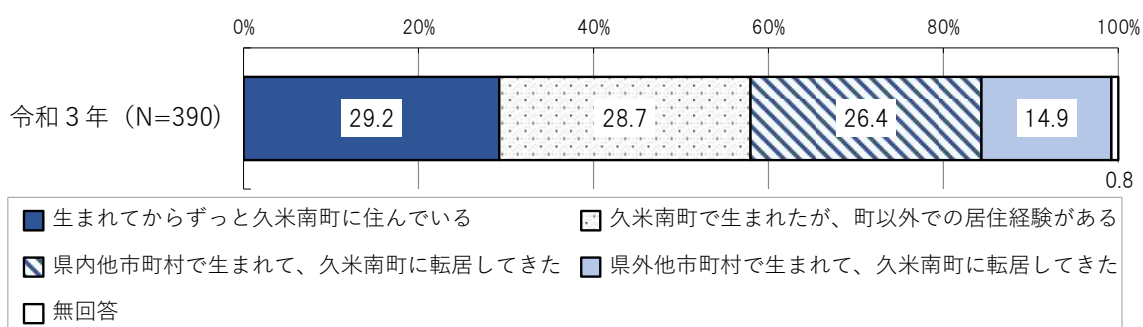
回答者の居住地区については、「弓削地区」が41.3%と最も多く、次いで「神目地区」(25.9%)、「誕生寺地区」(22.8%)、「竜山地区」(8.5%)の順となっています。



(7) 居住歴

回答者の居住歴については、「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」が29.2%と最も多く、次いで「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」(28.7%)、「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(26.4%)、「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(14.9%)の順となっています。

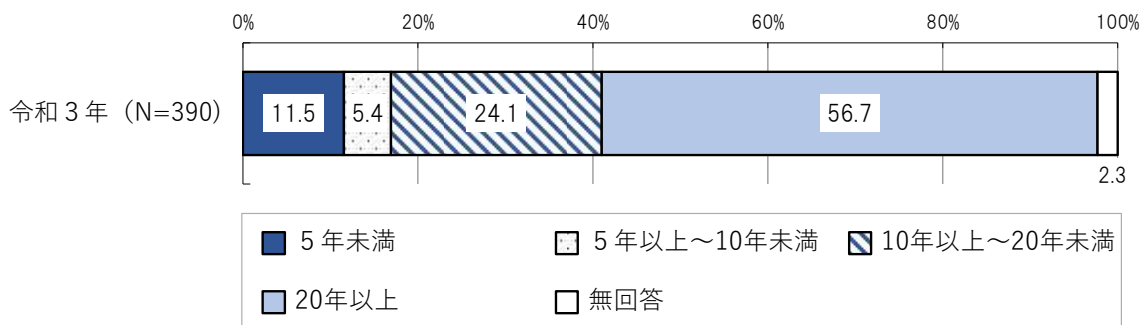
移住の側面では、Uターンである「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」が約3割、Iターンである「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」と「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」では約4割になり、移住者が多い傾向がみられます。



(8) 居住年数

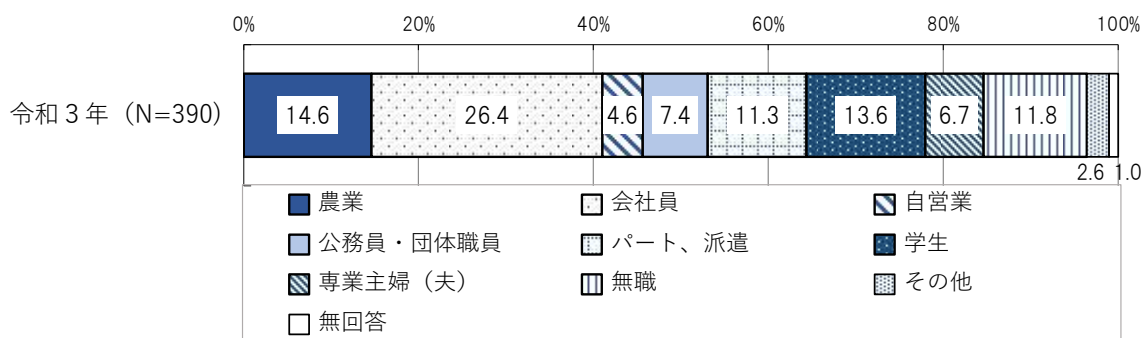
回答者の居住年数については、「20年以上」が56.7%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」(24.1%)、「5年未満」(11.5%)、「5年以上10年未満」(5.4%)の順となっています。

移住者が多いことから、比較的居住年数の少ない人が多い傾向がみえます。



(9) 職業

回答者の職業については、「会社員」が26.4%と最も多く、次いで「農業」(14.6%)、「学生」(13.6%)、「無職」(11.8%)、「パート、派遣」(11.3%)、「公務員・団体職員」(7.4%)、「専業主婦(夫)」(6.7%)、「自営業」(4.6%)、「その他」(2.6%)の順となっています。



Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

1 町への愛着度、定住意向について

(1) まちへの愛着度

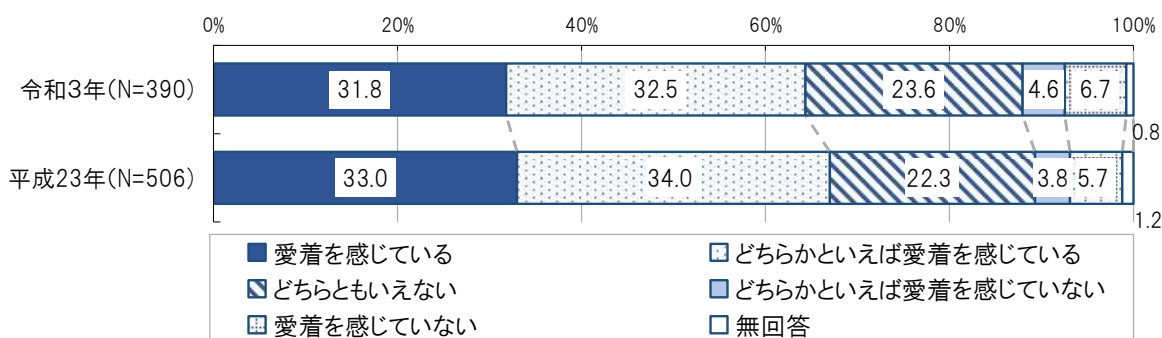
問2 あなたは、久米南町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。
(1つに○印)

“愛着を感じている”が64.3%、一方、“愛着を感じていない”が11.3%

「愛着を感じている」と答えた人が31.8%と最も多く、「どちらかといえば愛着を感じている」と答えた人が32.5%となっており、これらをあわせた“愛着を感じている”という人は64.4%となっています。これに対して、“愛着を感じていない”（「どちらかといえば愛着を感じていない」(4.6%)及び「愛着を感じていない」(6.7%)の合計)は11.3%となっており、町への愛着度は比較的高いといえます。なお、「どちらともいえない」は23.6%でした。

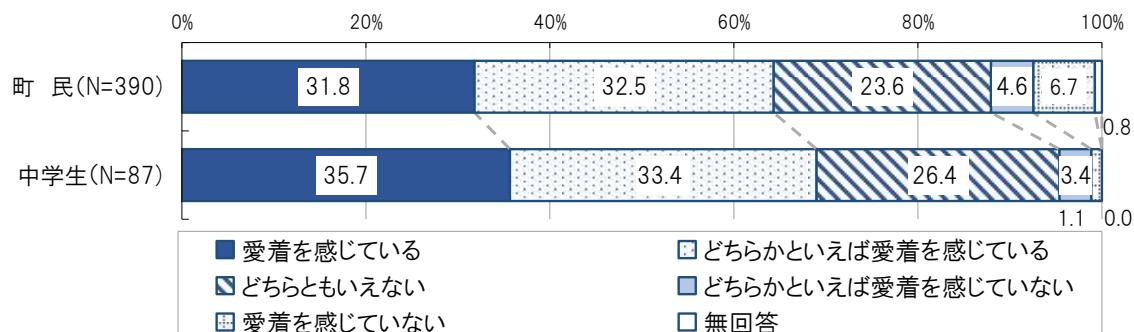
[前回調査との比較]

「愛着を感じている」が1.2ポイント、「どちらかといえば愛着を感じている」が1.5ポイント減少しており、前回と比較して大きな違いはありませんが、「愛着を感じていない」が1.0ポイント、「どちらかといえば愛着を感じていない」が0.8ポイントとやや増加しています。



[中学生との比較]

「愛着を感じている」について、一般町民は31.8%であったのに対し、中学生は35.7%となっており、「愛着を感じている」と「どちらかといえば愛着を感じている」をあわせた“愛着を感じている”については、一般町民の64.3%に対し、中学生は69.1%と町への愛着度は高くなっています。



[回答者の属性別]

性別でみると、男女による大きな違いはありませんでした。

年齢でみると、「愛着を感じている」では「70歳以上」が45.7%と最も高く、「30歳代」が16.3%と最も低く、「50歳代」(18.6%)も低くなっています。また、「60歳代」の「どちらかといえば愛着を感じている」(46.7%)がかなり高く、“愛着を感じている”では81.7%と他の年代と比較して非常に高くなっています。

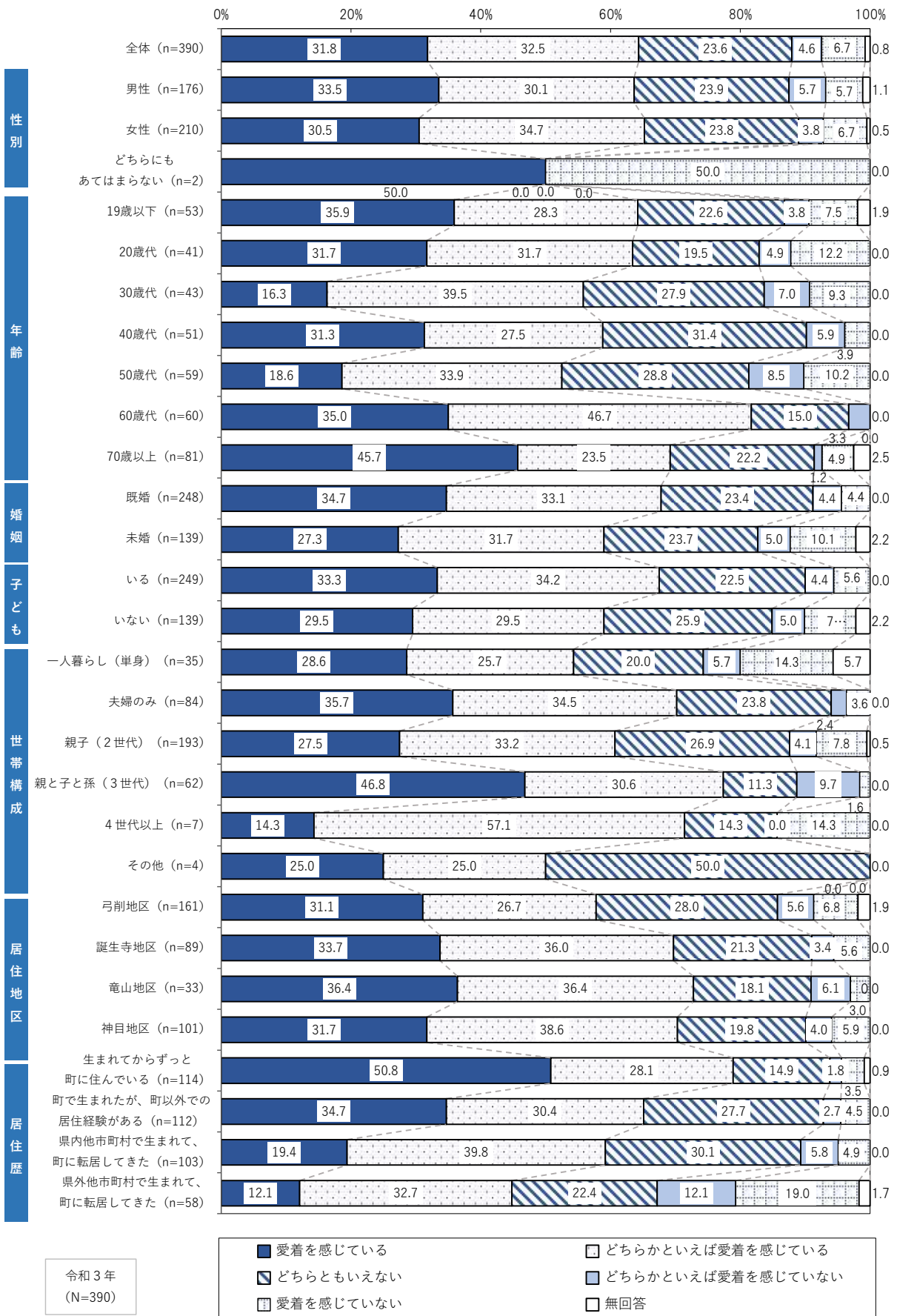
婚姻状況でみると、「愛着を感じている」では「未婚」(27.3%)が「既婚」(34.7%)より低く、“愛着を感じている”でも「未婚」(59.0%)が「既婚」(67.8%)より低くなっています。

子どもの有無でみると、「愛着を感じている」では「いない」(29.5%)と「いる」(33.3%)と大きな違いはありませんが、“愛着を感じている”では「いない」(59.0%)が「いる」(67.5%)より低くなっています。

世帯構成でみると、「愛着を感じている」では「親と子と孫(3世代)」が46.8%と最も高く、「一人暮らし(単身)」(28.6%)が低くなっています。また、“愛着を感じている”では「親と子と孫(3世代)」(77.4%)と最も高く、「一人暮らし(単身)」(54.3%)が低くなっています。さらに、「愛着を感じていない」では「一人暮らし(単身)」(14.3%)が他と比較して高くなっています。

居住地区でみると、「愛着を感じている」では大きな違いはありませんが、“愛着を感じている”では「竜山地区」(72.8%)が最も高く、「弓削地区」(57.8%)が最も低くなっています。

居住歴でみると、「愛着を感じている」では「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」が50.8%と最も高く、「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(19.4%)と「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(12.1%)が低くなっています。また、“愛着を感じている”では「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」(78.9%)が最も高く、「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(44.8%)が最も低くなっています。さらに、「愛着を感じていない」では「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(19.0%)が他と比較して高くなっています。



(2) まちへの定住意向

問3 あなたはこれからも久米南町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

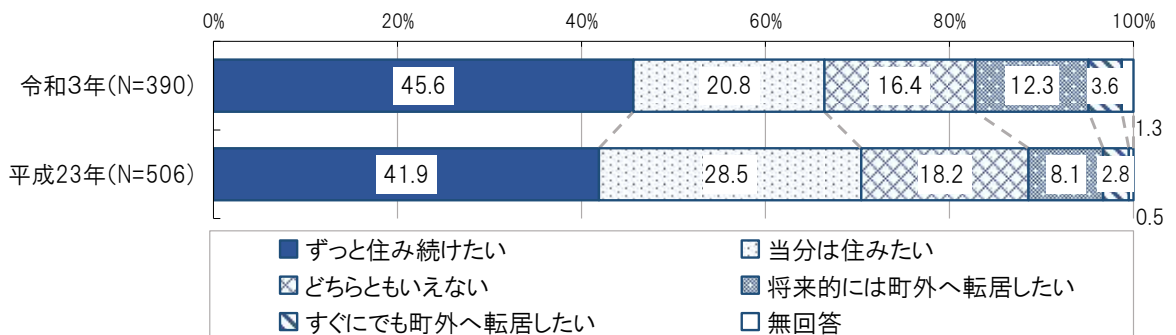
“住み続けたい”が66.4%、一方、“住みたくない”が15.9%

「ずっと住み続けたい」と答えた人が45.6%と最も多く、「当分は住みたい」と答えた人が20.8%となっており、これらをあわせた“住み続けたい”という人は66.4%となっています。これに対して、“住みたくない”（「将来的には町外へ転居したい」（12.3%）及び「すぐにでも町外へ転居したい」（3.6%）の合計）は15.9%となり、町への定住意向はやや高いといえますが、町外への転居を考えている人も比較的多い傾向があります。なお、「どちらともいえない」は16.4%でした。

[前回調査との比較]

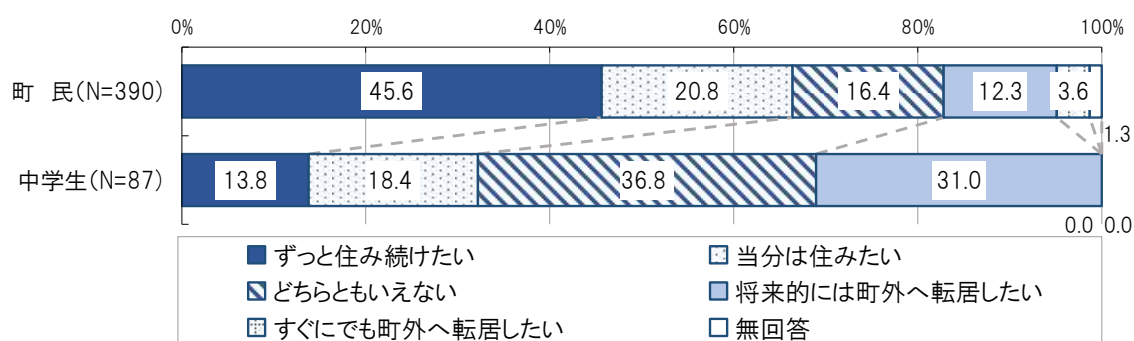
「ずっと住み続けたい」が3.7ポイント増加していますが、「当分は住みたい」が7.7ポイント減少しており、“住み続けたい”では4ポイントの減少となっています。

一方、「将来的には町外へ転居したい」が4.2ポイント、「すぐにでも町外へ転居したい」が0.8ポイント増加しており、“住みたくない”では5ポイントの増加となっています。



[中学生との比較]

「ずっと住みたい」について、一般町民は45.6%であったのに対し、中学生は13.8%とかなり低くなって、「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」をあわせた“住みたい”については、一般町民の66.4%に対し、中学生は32.2%であり町への定住意向は低くなっています。また、中学生の「どちらともいえない」(36.8%)が高いことから、まだ定住については決めかねている状況といえますが、「将来的には町外へ転居したい」(31.0%)も高く、一度は町外で住んでみて判断したい気持ちが伺えます。



※中学生アンケート結果は、設問の選択肢の1つ「進学や就職で町外へ出ていても、将来的には住みたい」を「当分は住みたい」と置き換えて比較しています。

[回答者の属性別]

性別でみると、「ずっと住みたい」では「男性」(52.3%)が「女性」(41.0%)より高くなっており、「住みたい」でも「男性」(71.1%)が「女性」(63.9%)より高くなっており、「男性」の方が定住意向が高いといえます。

年齢でみると、「ずっと住みたい」では「19歳以下」が11.3%と最も低く、「20歳代」(19.5%)と「30歳代」(23.3%)も低くなっていますが、加齢とともに高くなり「70歳以上」では74.1%と最も高くなっています。また、「住みたい」では、「60歳代」(86.6%)と「70歳以上」(88.9%)が他の年代と比べて高くなっています。「将来的には町外へ転居したい」では、「30歳代」以下の若い年代が高くなっています。

婚姻状況でみると、「ずっと住みたい」では「未婚」(21.6%)が「既婚」(59.3%)よりかなり低く、「住みたい」でも「未婚」(41.7%)が「既婚」(80.7%)よりかなり低くなっています。さらに「未婚」の「将来的には町外へ転居したい」(22.3%)も高く、「未婚」者の改善が定住意向の向上につながる結果といえます。

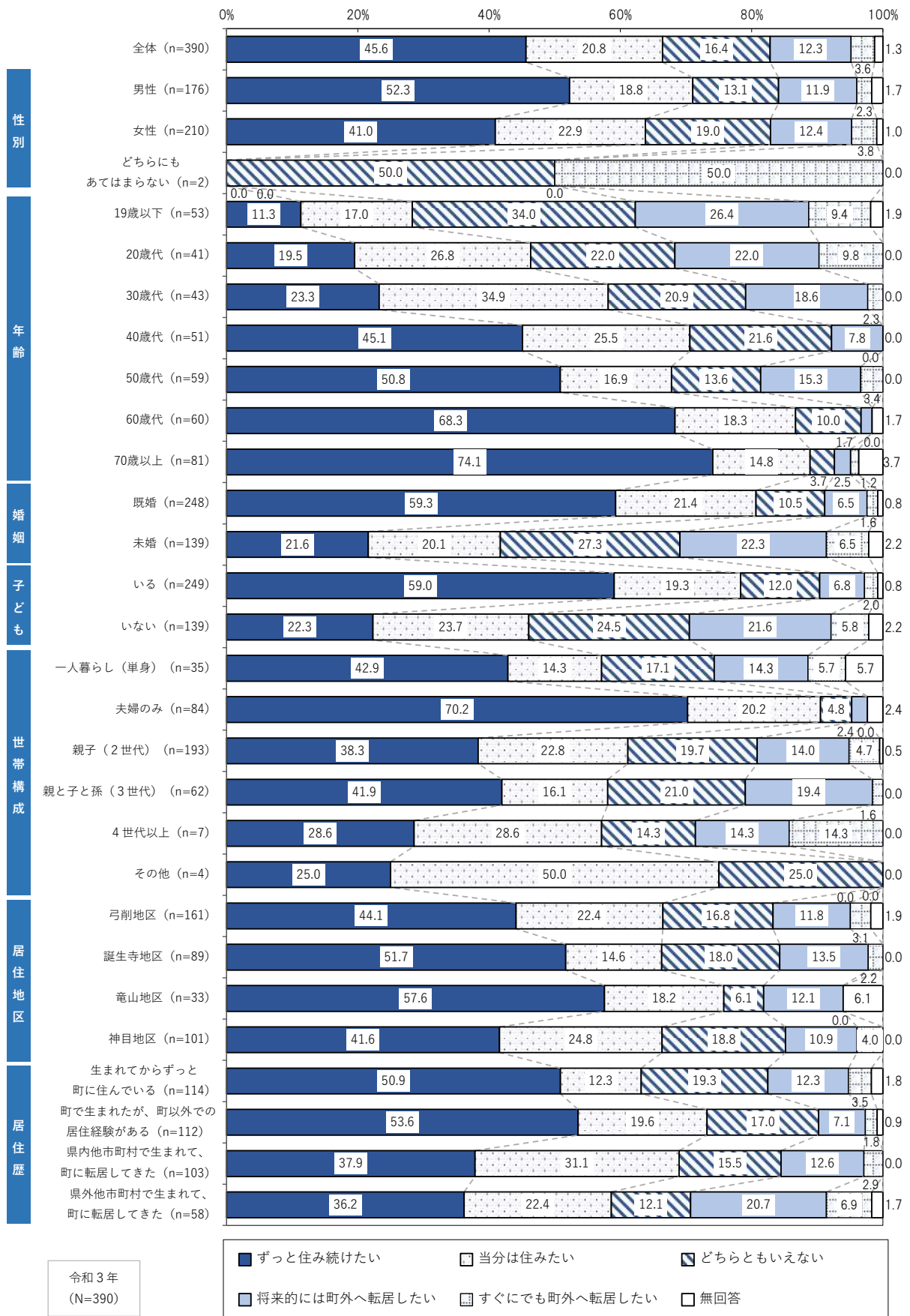
子どもの有無でみると、「ずっと住みたい」では「いない」(22.3%)が「いる」(59.0%)よりかなり低く、「住みたい」では「いない」(46.0%)が「いる」(78.3%)よりかなり低くなっています。さらに「いない」の「将来的には町外へ転居したい」(21.6%)も高く、婚姻状況と子どもの有無ではほとんど同じ傾向が見られます。

世帯構成でみると、「ずっと住みたい」では「夫婦のみ」が70.2%と最も高く、「親子(2世代)」(38.3%)が低くなっています。また、「住みたい」では「夫婦のみ」が90.4%と最も高いですが、他の世帯構成に大きな違いはありませんでした。

居住地区でみると、「ずっと住みたい」では、「竜山地区」(57.6%)が最も高く、「神目地区」(41.6%)と「弓削地区」(44.1%)が低くなっています。「住みたい」では「竜山地区」(75.8%)が最も高く、他の地区は大きな違いはありませんでした。

居住歴でみると、「ずっと住みたい」では「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」が53.6%と最も高く、「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」

(37.9%)と「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(36.2%)が低くなっています。また、“住み続けたい”では「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」(73.2%)が最も高く、「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(58.6%)が最も低くなっています。さらに、「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」(73.2%)は「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」(63.2%)よりも高いことから、一度町外で住んでみたことで、久米南町の良さや魅力の再認識につながり、定住意向の高さにおすびついていると考えられます。



【問3で「1. ずっと住みたい」または「2. 当分は住みたい」に○をつけた方に伺います。】

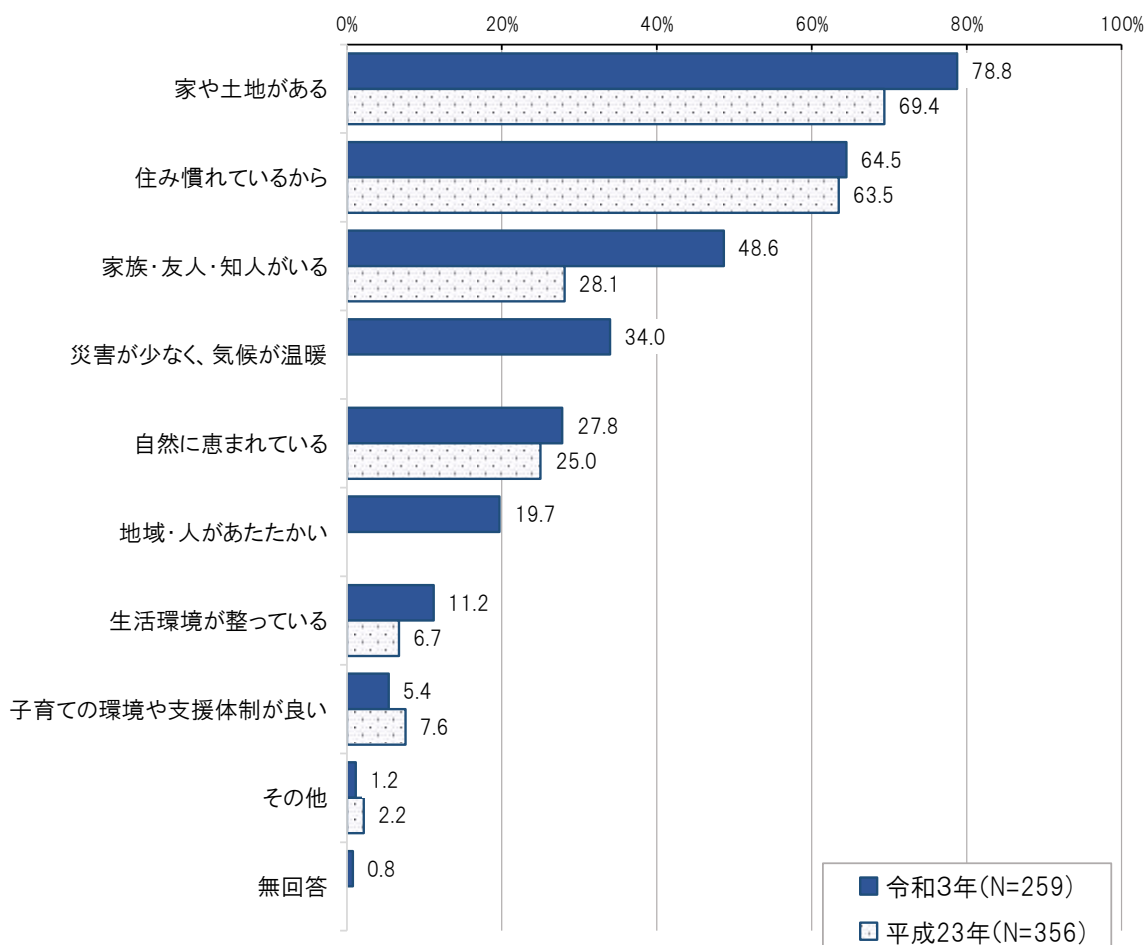
問3-1 住みたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

「家や土地がある」が78.8%と第1位、次いで「住み慣れているから」(64.5%)の順

「ずっと住みたい」(45.6%)と「当分は住みたい」(20.8%)と答えた259人の方に、住みたい理由を聞いたところ、「家や土地がある」が78.8%と最も多く、次いで「住み慣れているから」(64.5%)、「家族・友人・知人がいる」(48.6%)、「災害が少なく、気候が温暖」(34.0%)、「自然に恵まれている」(27.8%)などの順となっています。

[前回調査との比較]

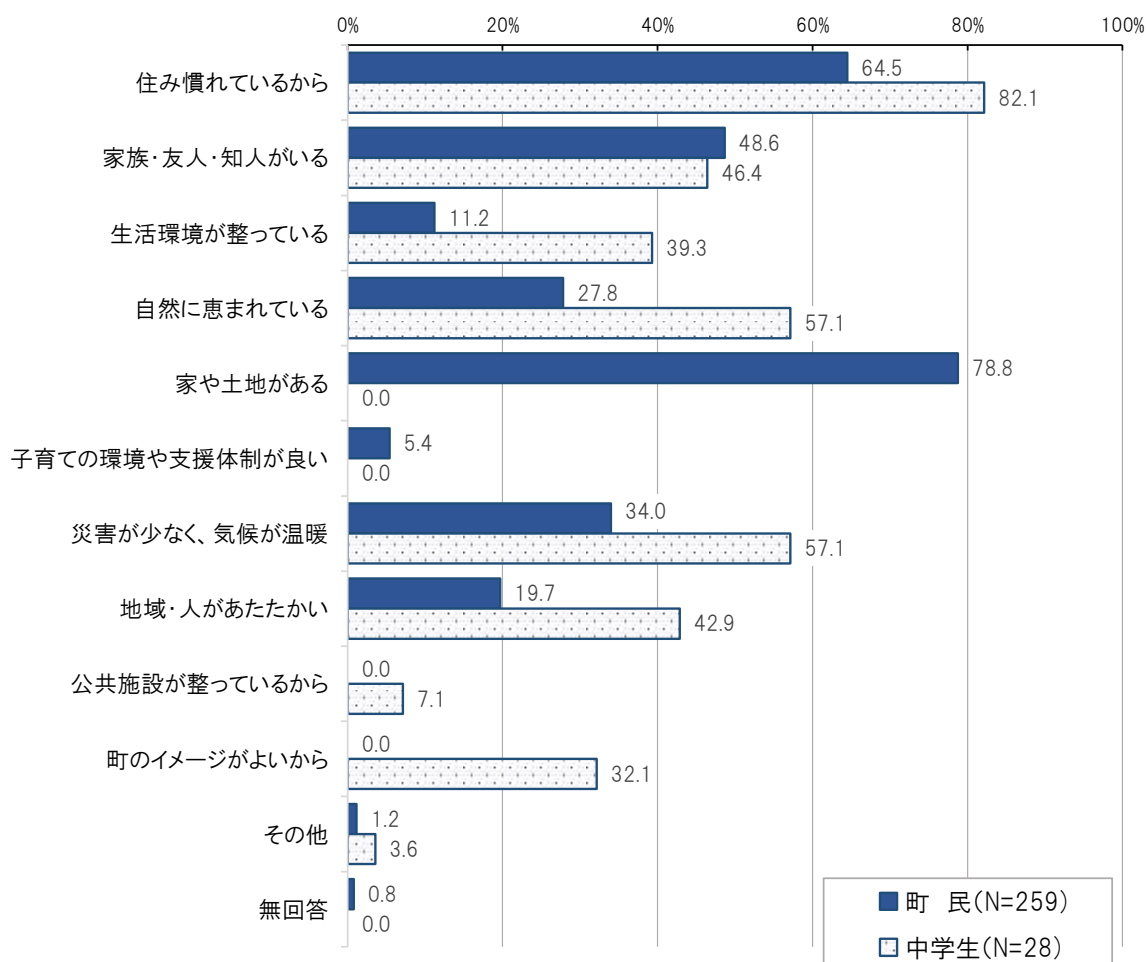
住みたい理由について、上位の順位には大きな違いはありませんが、第1位の「家や土地がある」が9.4ポイント減少した一方、「家族・友人・知人がいる」は20.5ポイントと大きく増加しています。



[参考] (中学生との比較)

中学生アンケートで同じような設問があります。選択肢の違いはありますが、全く同じもしくは同じような選択肢がありますので、参考に比較してあります。

ただし、中学生のサンプル数が少ないので、あくまで参考としてみていただきたいと思います。



【問3で「4. 将来的には町外へ転居したい」または「5. すぐにでも町外へ転居したい」に○をつけた方に伺います。】

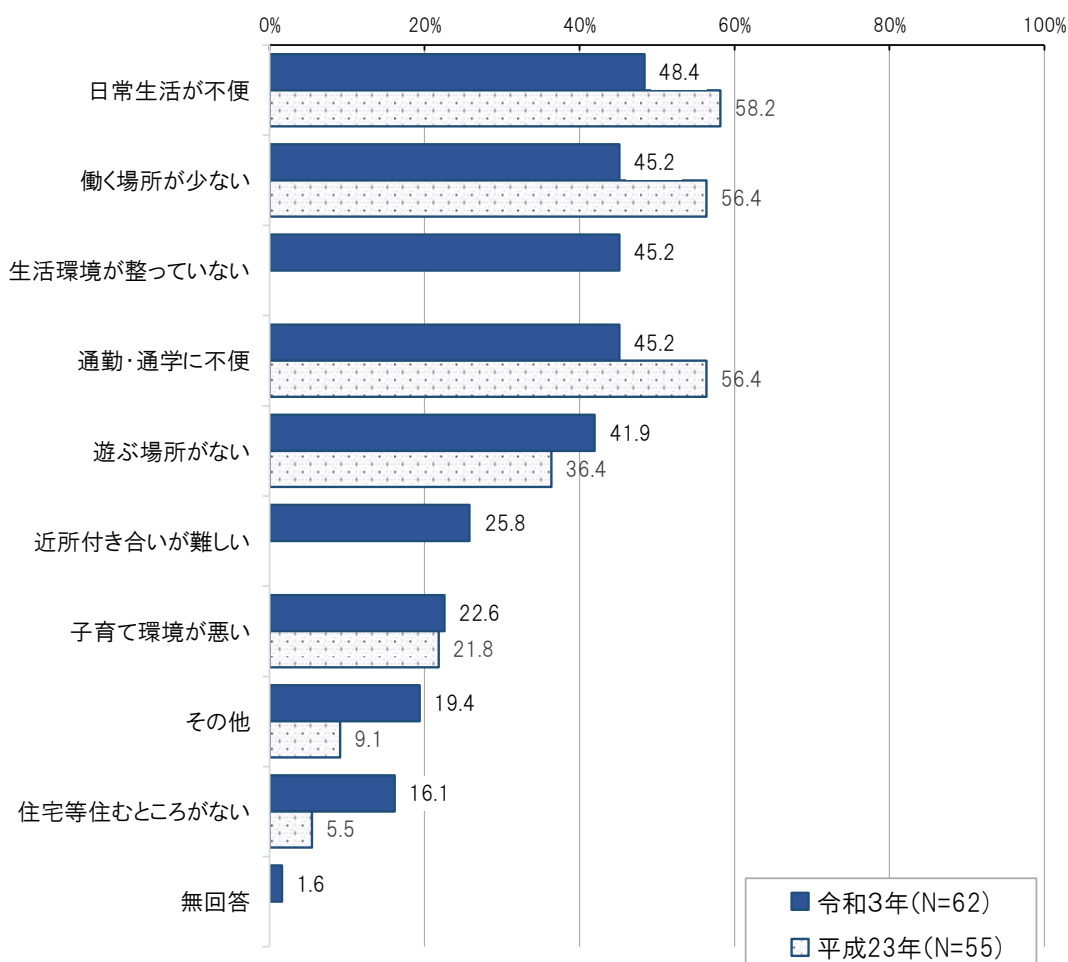
問3-2 住みたくない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

「日常生活が不便」が48.4%と第1位、次いで「働く場所が少ない」（45.2%）の順

「将来的には町外へ転居したい」（12.3%）と「すぐにでも町外へ転居したい」（3.6%）と答えた62の方に、住みたくない理由を聞いたところ、「日常生活が不便」が48.4%と最も多く、次いで「働く場所が少ない」（45.2%）、「生活環境（公共施設・交通・医療など）が整っていない」（45.2%）、「通勤・通学に不便」（45.2%）、「遊ぶ場所がない」（41.9%）などの順となっており、上位5位までは約4割を超えています。

[前回調査との比較]

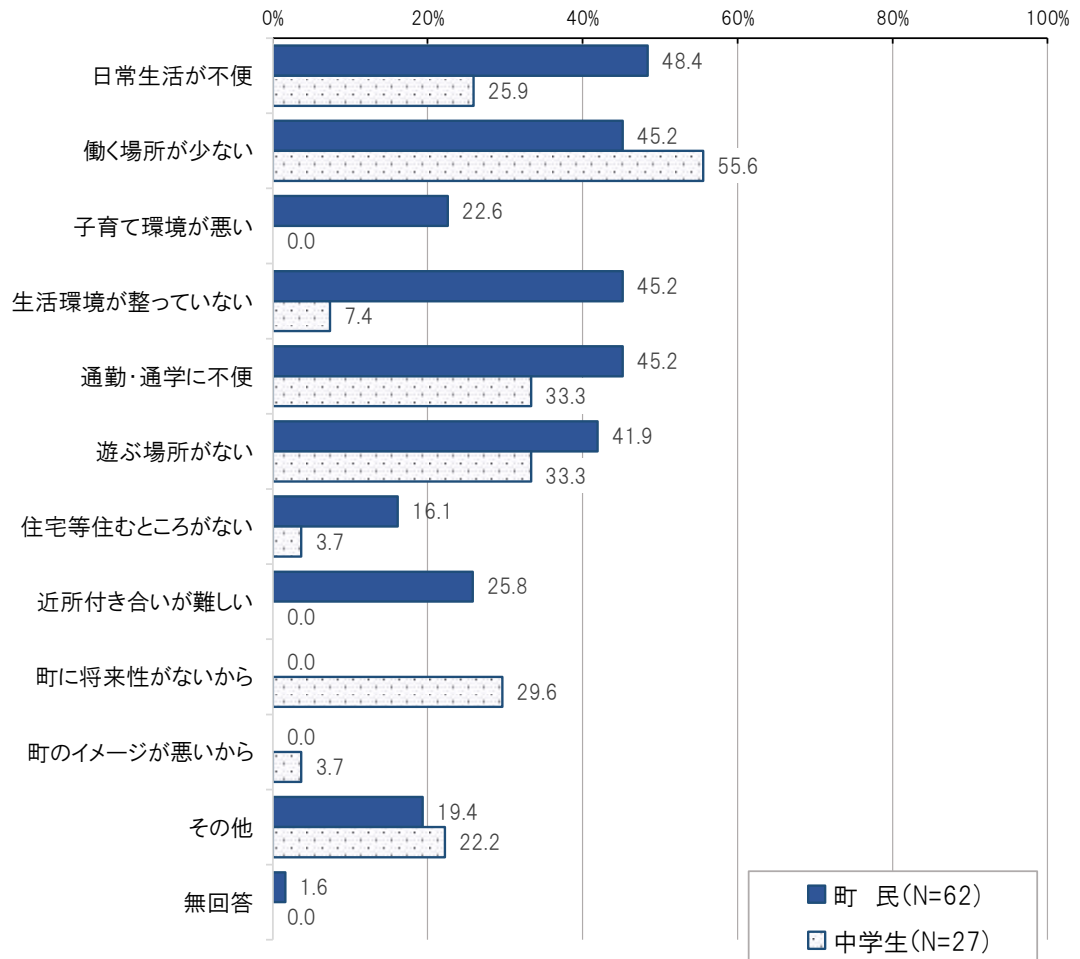
住みたくない理由について、上位の順位には大きな違いはありませんが、「日常生活が不便」、「働く場所が少ない」、「通勤・通学に不便」について約10ポイント減少した一方、「遊ぶ場所がない」は5.5ポイント増加しています。



[参考] (中学生との比較)

中学生アンケートで同じような設問があります。選択肢の違いはありますが、全く同じもしくは同じような選択肢がありますので、参考に比較してあります。

ただし、中学生のサンプル数が少ないので、あくまで参考としてみていただきたいと思います。



2 町の施策への満足度と重要度について

(1) 満足度

問4 久米南町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくり(重要度)についておたずねします。(1) 満足度について、それぞれの項目ごとに1つずつに○印)

満足度が最も高い項目は「15. 上水道・下水道の整備」。次いで「7. 消防・防災対策の充実」、「14. ごみ処理・リサイクルの充実」の順
満足度が最も低い項目は「20. 雇用対策の充実」。次いで「18. 観光振興の充実」、「11. 公共交通の利便性」の順

久米南町の各環境について、現在どの程度満足しているかを把握するため、保健・医療・福祉、生活環境・安全、産業・観光、教育・文化、住民参画・行財政の5分野 29 項目を設定し、項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値[後述参照]による数量化で評価点(満足度:最高点 10 点、中間点0点、最低点-10 点)を算出しました。

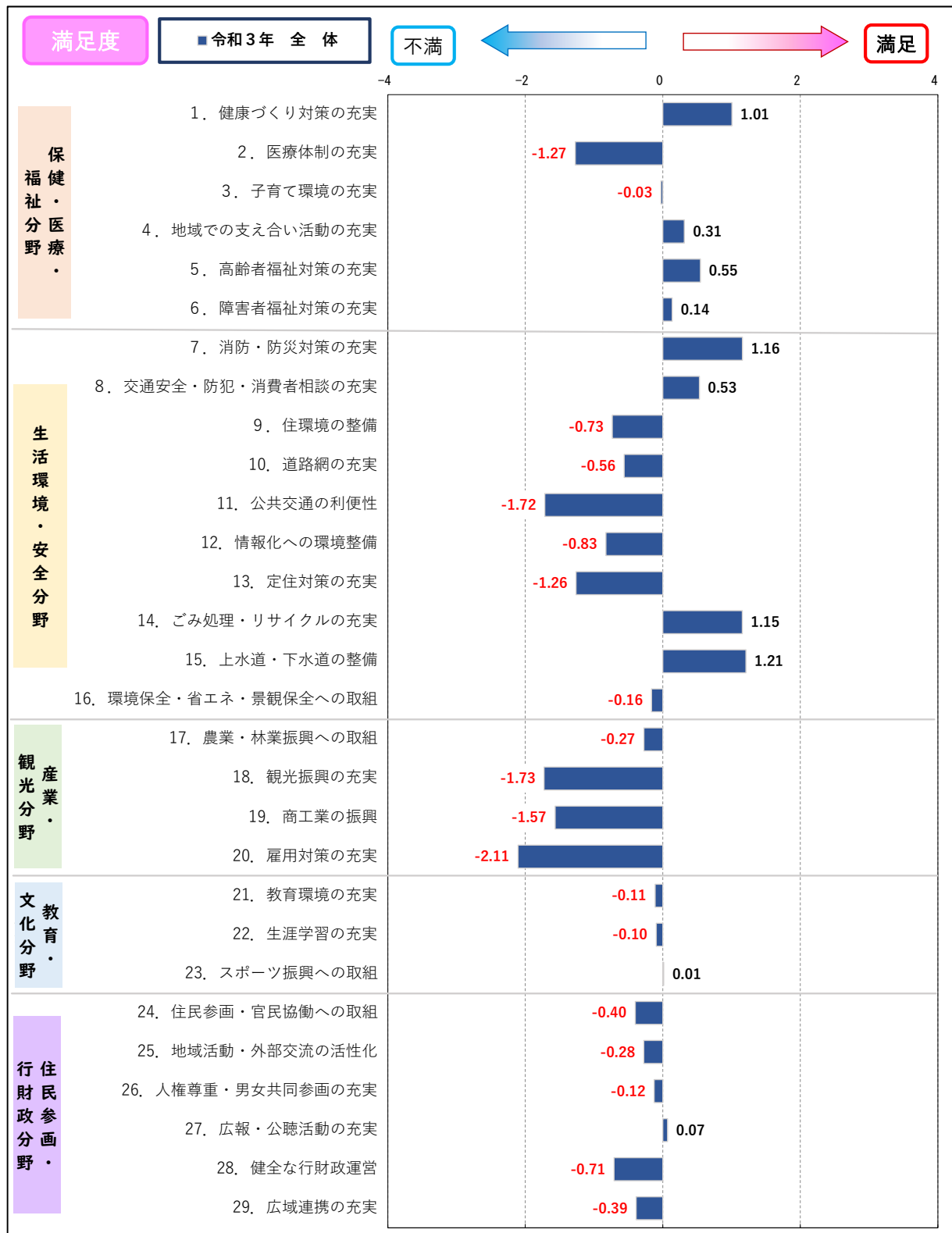
この結果、満足度評価が最も高い項目は、「15. 上水道・下水道の整備」(1.21 点)となり、次いで第2位が「7. 消防・防災対策の充実」(1.16 点)、第3位が「14. ごみ処理・リサイクルの充実」(1.15 点)と続き、以下、「1. 健康づくり対策の充実」(1.01 点)、「5. 高齢者福祉対策の充実」(0.55 点)などの順となっています。

一方、満足度評価の低い項目をみると、「20. 雇用対策の充実」(-2.11 点)が最も低く、次いで、「18. 観光振興の充実」(-1.73 点)、「11. 公共交通の利便性」(-1.72 点)、「19. 商工業の振興」(-1.57 点)、「2. 医療体制の充実」(-1.27 点)と続いています。全体的にみると、満足度がプラス評価の項目が 10 項目、マイナス評価の項目が 19 項目となっています。

[前回調査との比較]

平成 23 年調査と今回の調査を比較すると、上位3位まではほぼ同じ結果でしたが、今回調査では、第4位に「1. 健康づくり対策の充実」、第5位に「5. 高齢者福祉対策の充実」が入っています。

前回よりも不満度が改善されて満足度が上がっている主なものは、「1. 健康づくり対策の充実」、「3. 子育て環境の充実」、「5. 高齢者福祉対策の充実」、「17. 農業・林業振興への取組」、「20. 雇用対策の充実」となっています。



[全体結果]

満足度の全体結果は、以下のとおりです。(今回調査との違いのある項目を水色にしてあります。)

(※下位3位はワースト順)

全 体		
	平成 23 年	令和3年
上位3位	7. 消防・防災対策の充実	15. 上水道・下水道の整備
	15. 上水道・下水道の整備	7. 消防・防災対策の充実
	14. ごみ処理・リサイクルの充実	14. ごみ処理・リサイクルの充実
下位3位	20. 雇用対策の充実	20. 雇用対策の充実
	17. 農業・林業振興への取組	18. 観光振興の充実
	13. 定住対策の充実	11. 公共交通の利便性

[居住地区別結果]

満足度の居住地区別結果は、以下のとおりです。(今回調査との違いのある項目を水色にしてあります。)

(※下位3位はワースト順)

弓削 地区		
	弓削地区	全体
上位3位	7. 消防・防災対策の充実	15. 上水道・下水道の整備
	15. 上水道・下水道の整備	7. 消防・防災対策の充実
	1. 健康づくり対策の充実	14. ごみ処理・リサイクルの充実
下位3位	20. 雇用対策の充実	20. 雇用対策の充実
	19. 商工業の振興	18. 観光振興の充実
	18. 観光振興の充実	11. 公共交通の利便性

誕生寺 地区		
	誕生寺地区	全体
上位3位	15. 上水道・下水道の整備	15. 上水道・下水道の整備
	7. 消防・防災対策の充実	7. 消防・防災対策の充実
	14. ごみ処理・リサイクルの充実	14. ごみ処理・リサイクルの充実
下位3位	11. 公共交通の利便性	20. 雇用対策の充実
	20. 雇用対策の充実	18. 観光振興の充実
	2. 医療体制の充実	11. 公共交通の利便性

竜山 地区		
	竜山地区	全体
上位3位	14. ごみ処理・リサイクルの充実	15. 上水道・下水道の整備
	21. 教育環境の充実	7. 消防・防災対策の充実
	7. 消防・防災対策の充実	14. ごみ処理・リサイクルの充実
下位3位	2. 医療体制の充実	20. 雇用対策の充実
	20. 雇用対策の充実	18. 観光振興の充実
	10. 道路網の充実	11. 公共交通の利便性

神目 地区		
	神目地区	全体
上位3位	15. 上水道・下水道の整備	15. 上水道・下水道の整備
	1. 健康づくり対策の充実	7. 消防・防災対策の充実
	14. ごみ処理・リサイクルの充実	14. ごみ処理・リサイクルの充実
下位3位	18. 観光振興の充実	20. 雇用対策の充実
	20. 雇用対策の充実	18. 観光振興の充実
	11. 公共交通の利便性	11. 公共交通の利便性

※なお、町全体の満足度と各居住地区の満足度の比較グラフは資料にあります。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足」、「やや満足」、「普通」、} \\ \text{「やや不満」、「不満」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の0点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

(2) 重要度

問4 久米南町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくり(重要度)についておたずねします。(2)重要度について、それぞれの項目ごとに1つずつに○印)

重要度が最も高い項目は「2. 医療体制の充実」。次いで「3. 子育て環境の充実」、「21. 教育環境の充実」の順

重要度が最も低い項目は「24. 住民参画・官民協働への取組」。次いで「25. 地域活動・外部交流の活性化」、「23. スポーツ振興への取組」の順

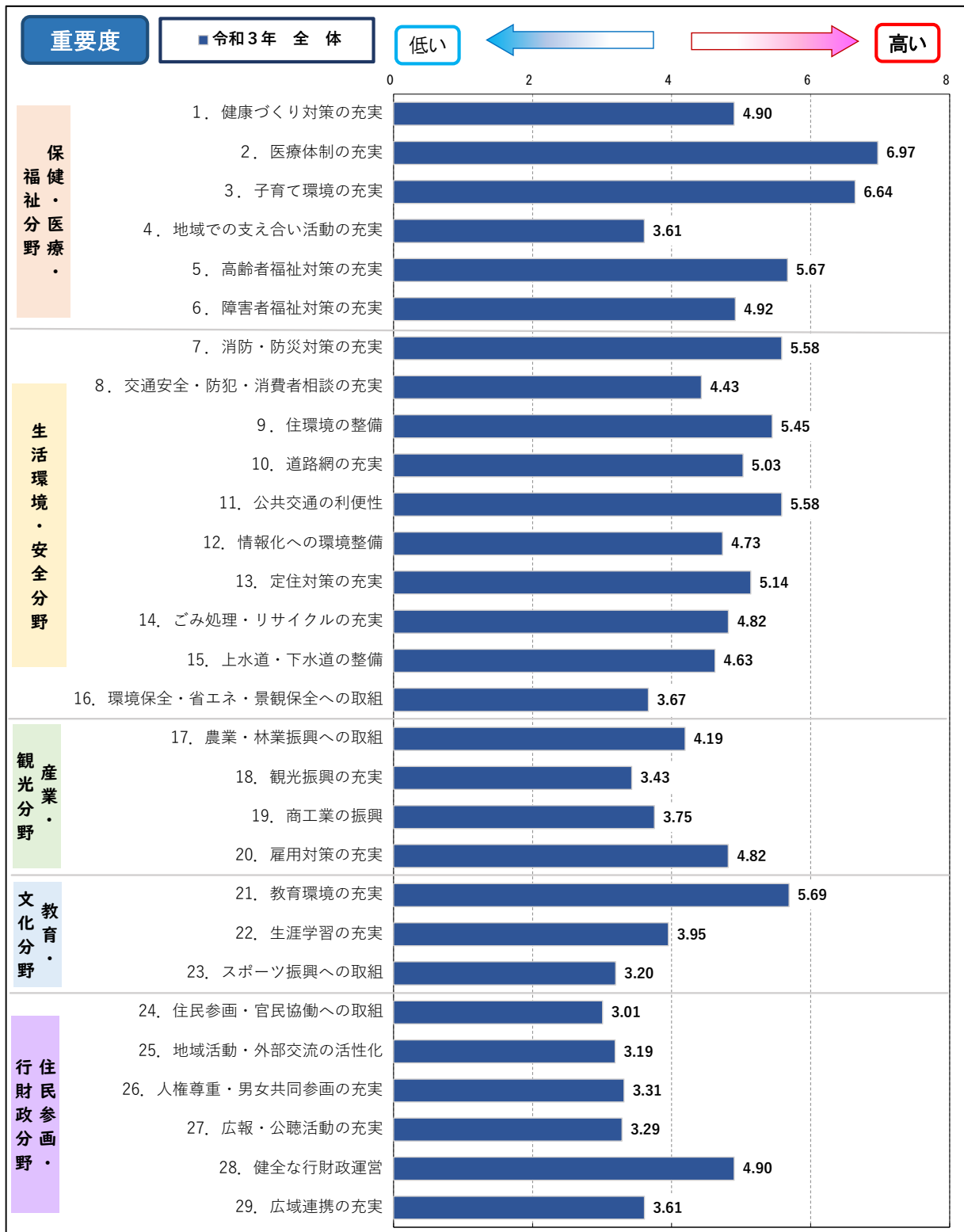
久米南町の各環境について、現在どの程度重視しているかを把握するため、保健・医療・福祉、生活環境・安全、産業・観光、教育・文化、住民参画・行財政の5分野 29 項目を設定し、項目ごとに「重要」、「ある程度重要」、「どちらともいえない」、「あまり重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値[後述参照]による数量化で評価点(重要度:最高点 10 点、中間点0点、最低点-10 点)を算出しました。この結果、重要度評価が最も高い項目は、「2. 医療体制の充実」(6.97 点)となっており、次いで第2位が「3. 子育て環境の充実」(6.64 点)、第3位が「21. 教育環境の充実」(5.69 点)と続き、以下、「5. 高齢者福祉対策の充実」(5.67 点)、「7. 消防・防災対策の充実」(5.58 点)などの順となっています。

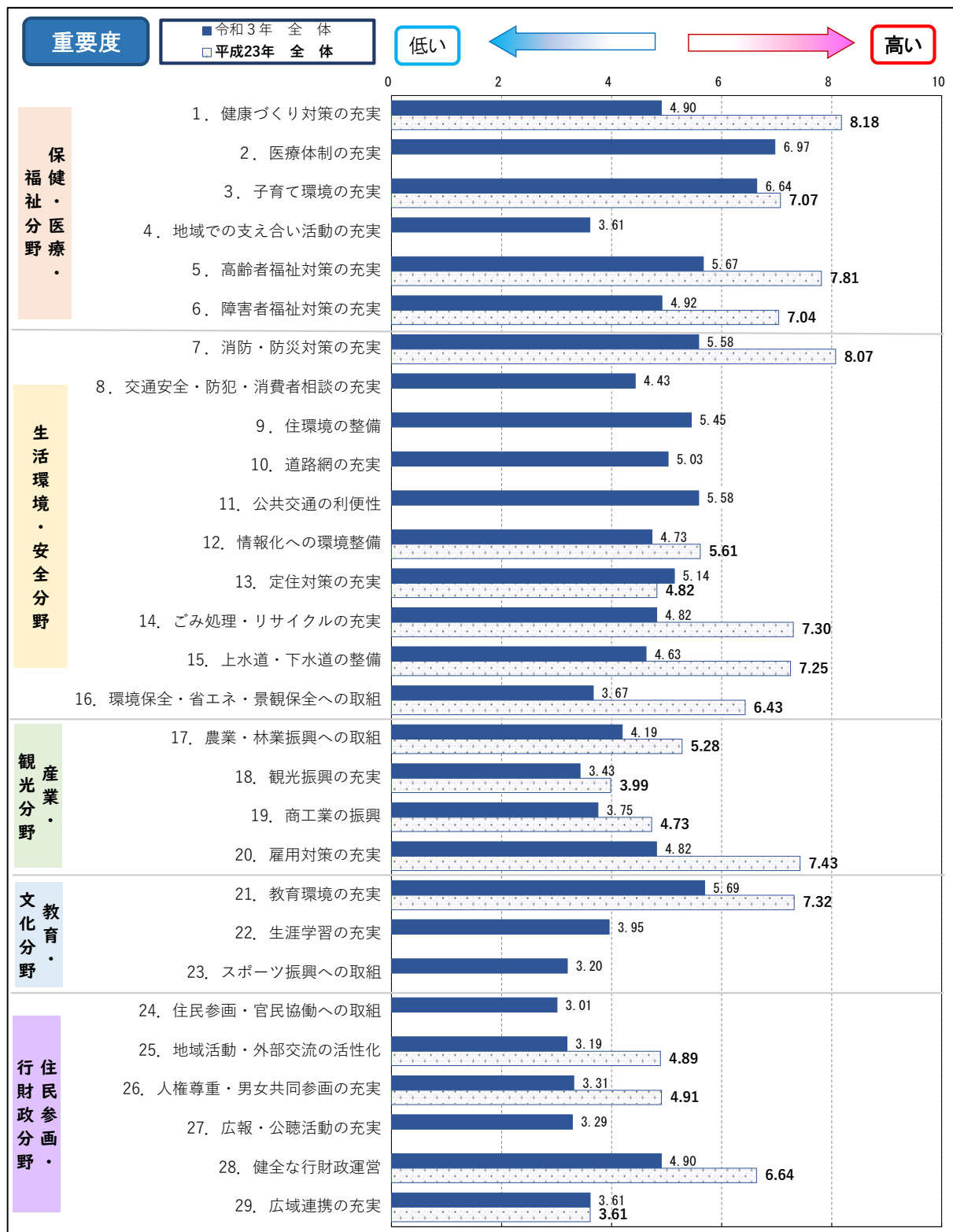
一方、重要度の低い項目をみると、「24. 住民参画・官民協働への取組」(3.01 点)が最も低く、次いで、「25. 地域活動・外部交流の活性化」(3.19 点)、「23. スポーツ振興への取組」(3.20 点)、「27. 広報・公聴活動の充実」(3.29 点)、「26. 人権尊重・男女共同参画の充実」(3.31 点)と続いています。全体的にみると、保健・医療・福祉や生活環境・安全の分野を重要視する傾向があり、重要度の低い項目は住民参画・行財政の分野となっています。

[前回調査との比較]

平成 23 年調査と今回の調査を比較すると、前回の上位3位は「1. 健康づくり対策の充実」、「7. 消防・防災対策の充実」、「5. 高齢者福祉対策の充実」であり、大きく変わっています。

前回よりも重要度が上がっているものは、「13. 定住対策の充実」となっており、一方、重要度が下がっている主なものは、「1. 健康づくり対策の充実」、「5. 高齢者福祉対策の充実」、「6. 障害者福祉対策の充実」、「7. 消防・防災対策の充実」、「14. ごみ処理・リサイクルの充実」、「15. 上水道・下水道の整備」、「16. 環境保全・省エネ・景観保全への取組」、「20. 雇用対策の充実」などとなっています。





[全体結果]

重要度の全体結果は、以下のとおりです。(今回調査との違いのある項目を水色にしてあります。)

(※下位3位はワースト順)

全 体		
	平成 23 年	令和3年
上位3位	1. 健康づくり対策の充実	2. 医療体制の充実
	7. 消防・防災対策の充実	3. 子育て環境の充実
	5. 高齢者福祉対策の充実	21. 教育環境の充実
下位3位	29. 広域連携の充実	24. 住民参画・官民協働への取組
	18. 観光振興の充実	25. 地域活動・外部交流の活性化
	19. 商工業の振興	23. スポーツ振興への取組

[居住地区別結果]

重要度の居住地区別結果は、以下のとおりです。(今回調査との違いのある項目を水色にしてあります。)

(※下位3位はワースト順)

弓削 地区		
	弓削地区	全体
上位3位	2. 医療体制の充実	2. 医療体制の充実
	3. 子育て環境の充実	3. 子育て環境の充実
	5. 高齢者福祉対策の充実	21. 教育環境の充実
下位3位	24. 住民参画・官民協働への取組	24. 住民参画・官民協働への取組
	25. 地域活動・外部交流の活性化	25. 地域活動・外部交流の活性化
	27. 広報・公聴活動の充実	23. スポーツ振興への取組

誕生寺 地区		
	誕生寺地区	全体
上位3位	2. 医療体制の充実	2. 医療体制の充実
	3. 子育て環境の充実	3. 子育て環境の充実
	5. 高齢者福祉対策の充実	21. 教育環境の充実
下位3位	23. スポーツ振興への取組	24. 住民参画・官民協働への取組
	24. 住民参画・官民協働への取組	25. 地域活動・外部交流の活性化
	26. 人権尊重・男女共同参画の充実	23. スポーツ振興への取組

竜山 地区		
	竜山地区	全体
上位3位	2. 医療体制の充実	2. 医療体制の充実
	3. 子育て環境の充実	3. 子育て環境の充実
	10. 道路網の充実	21. 教育環境の充実
下位3位	27. 広報・公聴活動の充実	24. 住民参画・官民協働への取組
	24. 住民参画・官民協働への取組	25. 地域活動・外部交流の活性化
	16. 環境保全・省エネ・景観保全への取組	23. スポーツ振興への取組

神目 地区		
	神目地区	全体
上位3位	3. 子育て環境の充実	2. 医療体制の充実
	2. 医療体制の充実	3. 子育て環境の充実
	21. 教育環境の充実	21. 教育環境の充実
下位3位	24. 住民参画・官民協働への取組	24. 住民参画・官民協働への取組
	23. スポーツ振興への取組	25. 地域活動・外部交流の活性化
	25. 地域活動・外部交流の活性化	23. スポーツ振興への取組

※なお、町全体の重要度と各居住地区の重要度の比較グラフは資料にあります。

※加重平均値の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「重要」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「ある程度重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「重要」、「ある程度重要」、「ど} \\ \text{ちらともいえない」、「あまり重} \\ \text{要でない」、「重要でない」の回} \\ \text{答者数} \end{array} \right)$$

(3) 優先度（満足度と重要度の相関）

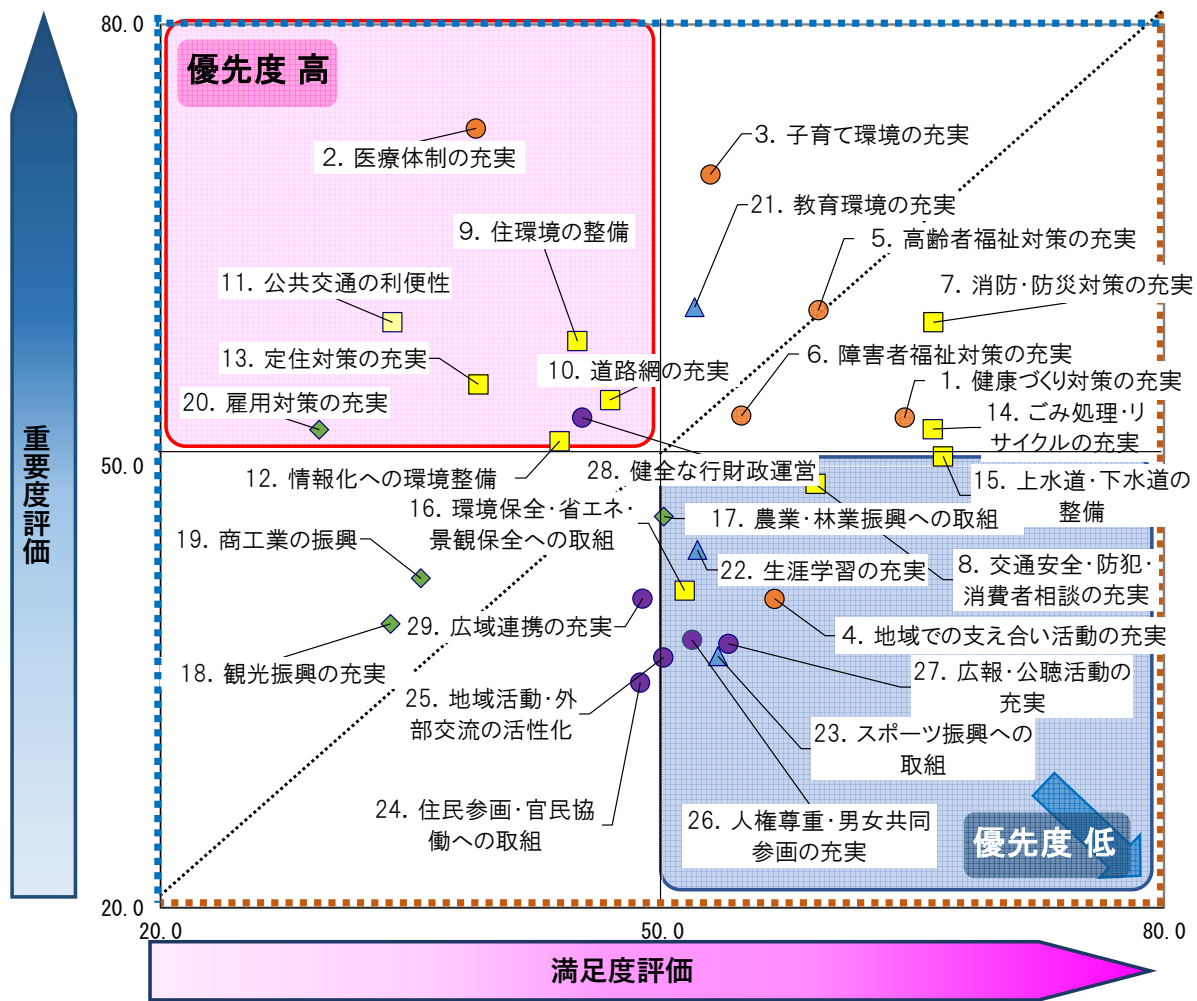
優先度が最も高い項目は「2. 医療体制の充実」。次いで「11. 公共交通の利便性」、「20. 雇用対策の充実」の順。

これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための一つの試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。

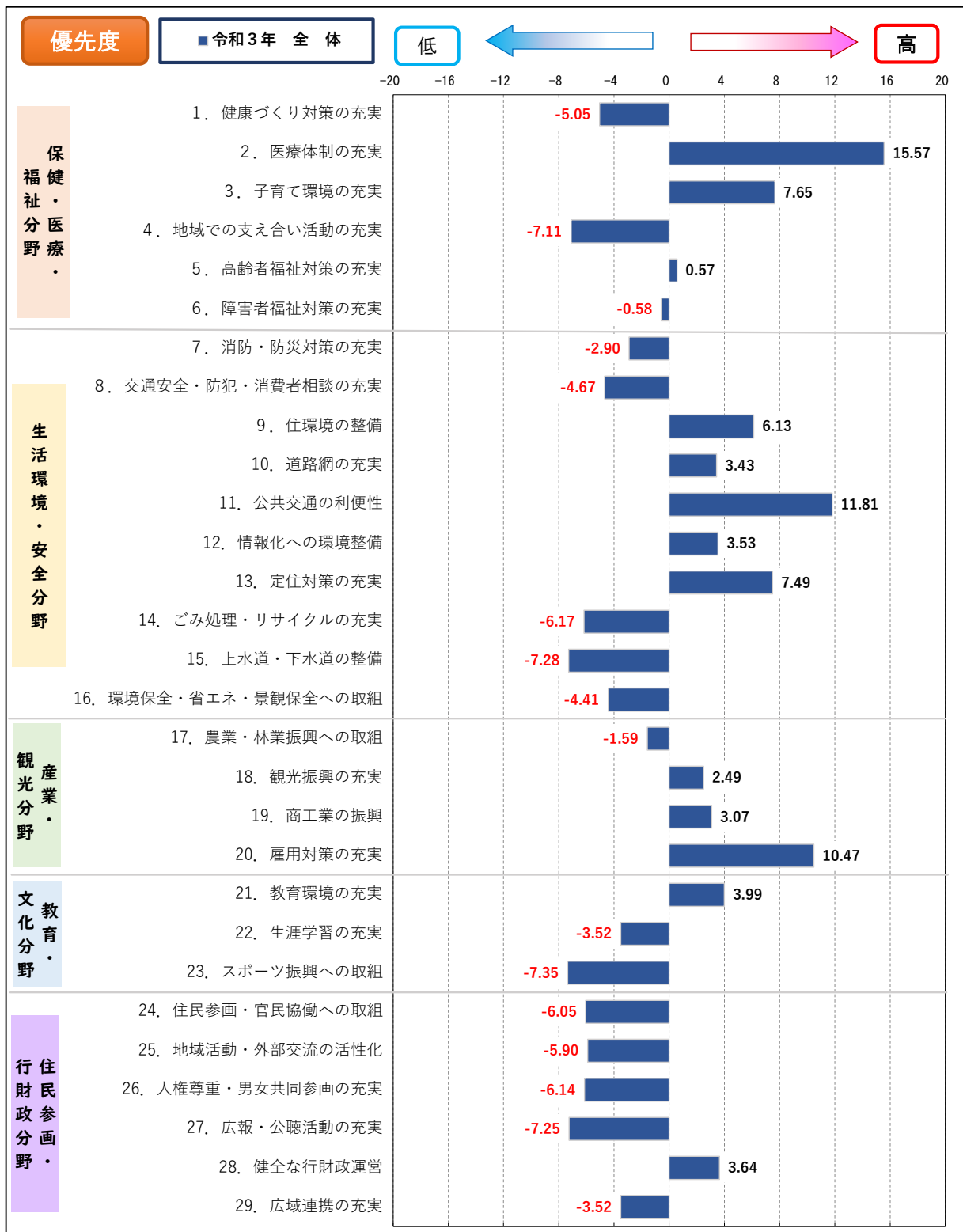
この結果をみると、優先度は、「2. 医療体制の充実」(15.57 点)が第1位となっており、次いで「11. 公共交通の利便性」(11.81 点)、「20. 雇用対策の充実」(10.47 点)、「3. 子育て環境の充実」(7.65 点)、「13. 定住対策の充実」(7.49 点)などの順となっています。分野別では、保健・医療・福祉、生活環境・安全の分野の施策に対する優先度が高く、住民参画・行財政の分野の施策への優先度が低くなっています。

※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
- ② ①で算出した偏差値から平均(中心)からの距離を算出する。
- ③ 平均(中心)から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均(中心)から各項目への線の角度を求める。
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する(指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる)。
- ⑤ ②で算出された平均(中心)からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。



- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ● 1.~6.: 保健・医療・福祉分野 | ■ 7.~16.: 生活環境・安全分野 |
| ◆ 17.~20.: 産業・観光分野 | ▲ 21.~23.: 教育・文化分野 |
| ● 24.~29.: 住民参画・行財政分野 | |



3 町の目指すべきまちづくり等について

(1) 目指すべきまちづくり

問5 これから久米南町はどのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。
(3つまでに○印)

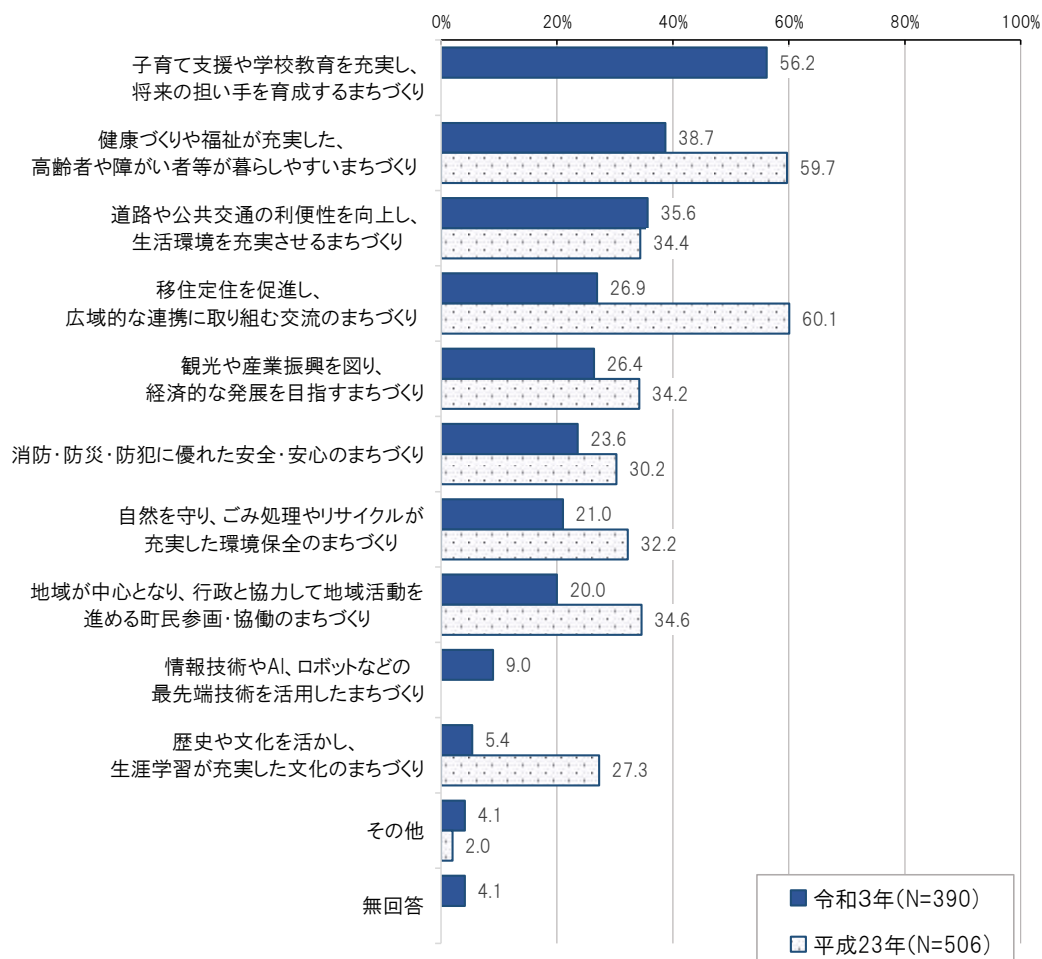
「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」が56.2%と第1位、次いで「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」(38.7%)の順

第1位が「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」(56.2%)、第2位が「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」(38.7%)、第3位が「道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり」(35.6%)などの順となっています。

[前回調査との比較]

今回の選択肢に新たに追加された「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」(56.2%)が第1位となっています。

前回第1位の「移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり」は33.2ポイント、前回第2位の「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」は21.0ポイントの大きな減少となっています。



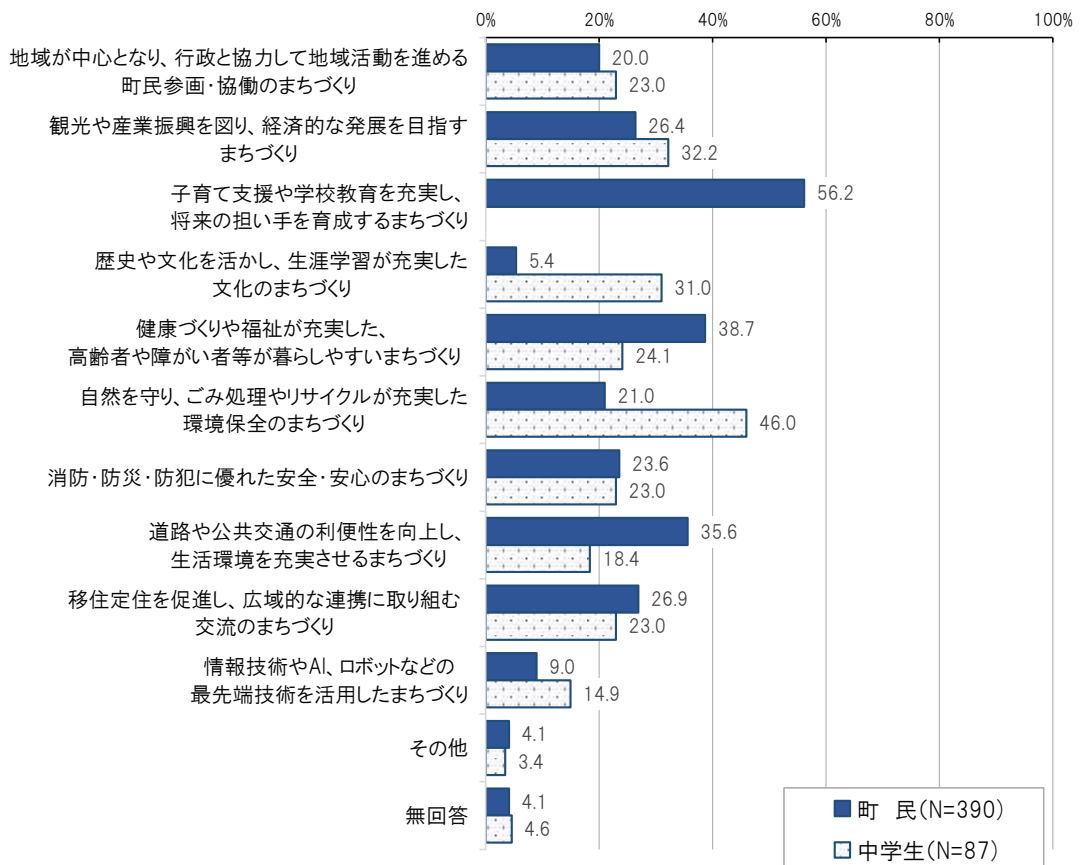
[中学生との比較]

町民結果と中学生結果をみると、「健康づくりと福祉」、「移住定住と交流」、「観光や産業など経済的発展」の3つのまちづくりの内容が、上位5位までに同様に入っています。

町民は「子育て支援や教育、担い手づくり」を中心に、「福祉関連」や「利便性の高い生活環境」の充実を図り、「移住定住」につなげ、「交流や観光、産業の振興を進め経済的に発展」したまちづくりを希望しています。

中学生は「自然や環境の保全」を中心に、自然と調和した、「交流や観光、産業の振興を進め経済的に発展」した、「歴史や文化」の香りがする、「福祉の充実」したまちづくりを希望しています。

順位	町民結果	中学生結果
第1位	子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり (56.2%)	自然を守り、ごみ処理やリサイクルが充実した環境保全のまちづくり (46.0%)
第2位	健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり (38.7%)	観光や産業振興を図り、経済的な発展を目指すまちづくり (32.2%)
第3位	道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり (35.6%)	歴史や文化を活かし、生涯学習が充実した文化のまちづくり (31.0%)
第4位	移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり (26.9%)	健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり (24.1%)
第5位	観光や産業振興を図り、経済的な発展を目指すまちづくり (26.4%)	地域が中心となり、行政と協力して地域活動を進める町民参画・協働のまちづくり (23.0%)
		消防・防災・防犯に優れた安全・安心のまちづくり (23.0%)
		移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり (23.0%)



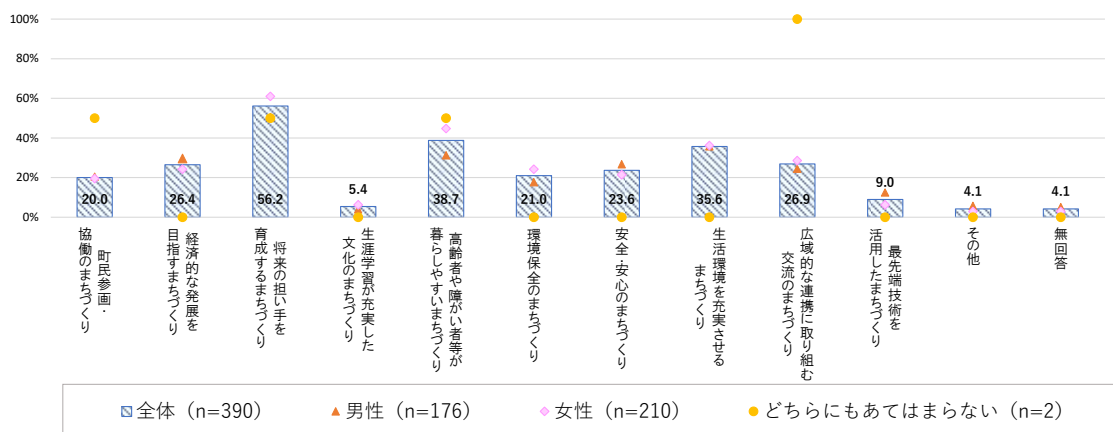
[回答者の属性別]

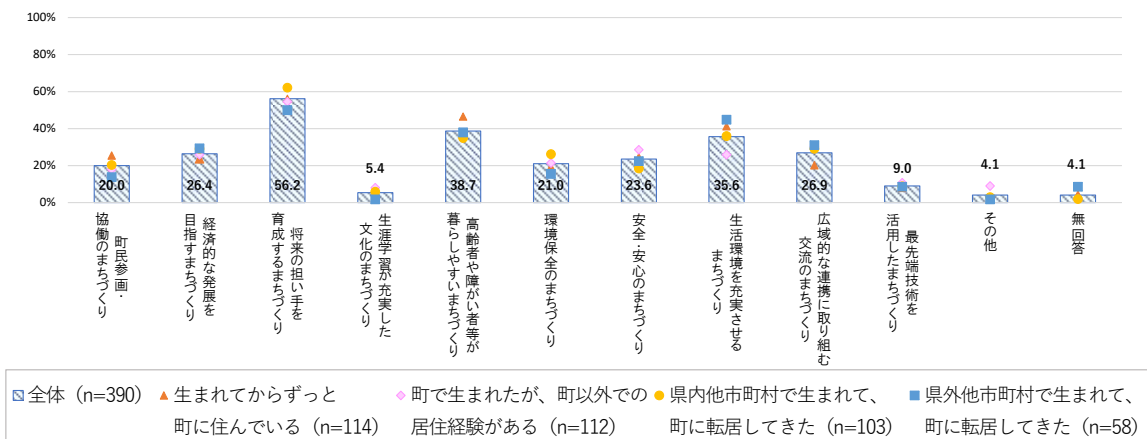
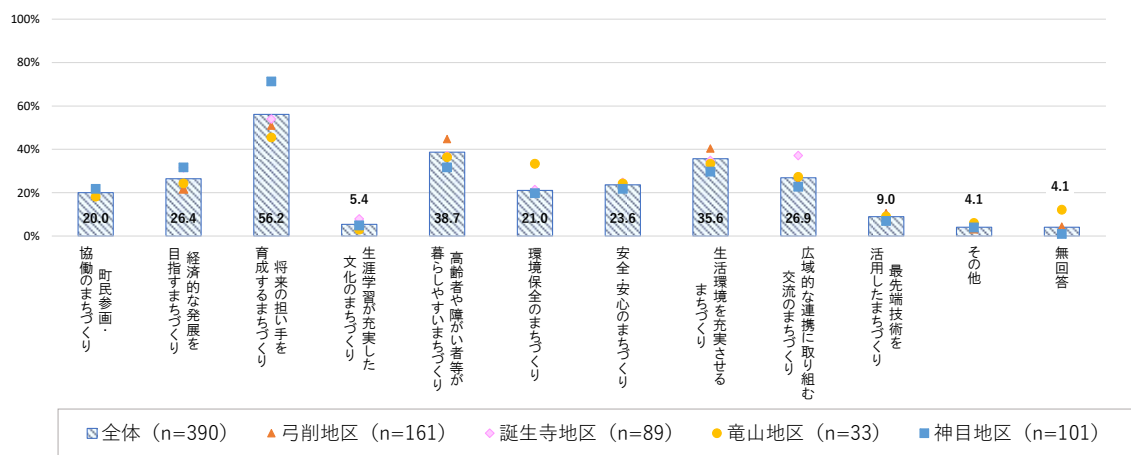
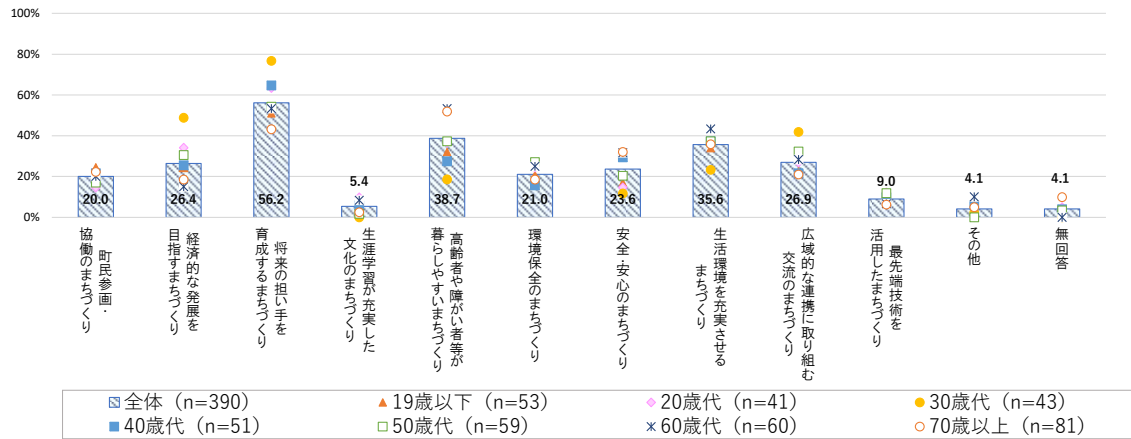
性別でみると、男女による大きな違いはありませんが、「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」及び「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」について、女性の意見がやや多くなっています。

年齢でみると、第1位の「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」では、「30歳代」及び「40歳代」の意見が他の年代より多くなっています。第2位の「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」では、「60歳代」及び「70歳代以上」の意見が他の年代より多くなっています。第3位の「道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり」では、「60歳代」の意見が他の年代より多くなっています。第4位の「移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり」では、「30歳代」の意見が他の年代より多くなっています。第5位の「観光や産業振興を図り、経済的な発展を目指すまちづくり」では、「30歳代」の意見が他の年代より多くなっています。

居住地区でみると、大きな違いはありませんが、第1位の「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」では、「神目地区」の意見が他の地区より多くなっています。「竜山地区」では「自然を守り、ごみ処理やリサイクルが充実した環境保全のまちづくり」が他の地区より意見が多くなっています。

居住歴でみると、「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」では、第2位の「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」が他の居住歴より意見が多くなっています。「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」では、第1位の「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」が他の居住歴より意見が多くなっています。「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」では、第3位の「道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり」と第4位の「移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり」が他の居住歴より意見が多くなっています。





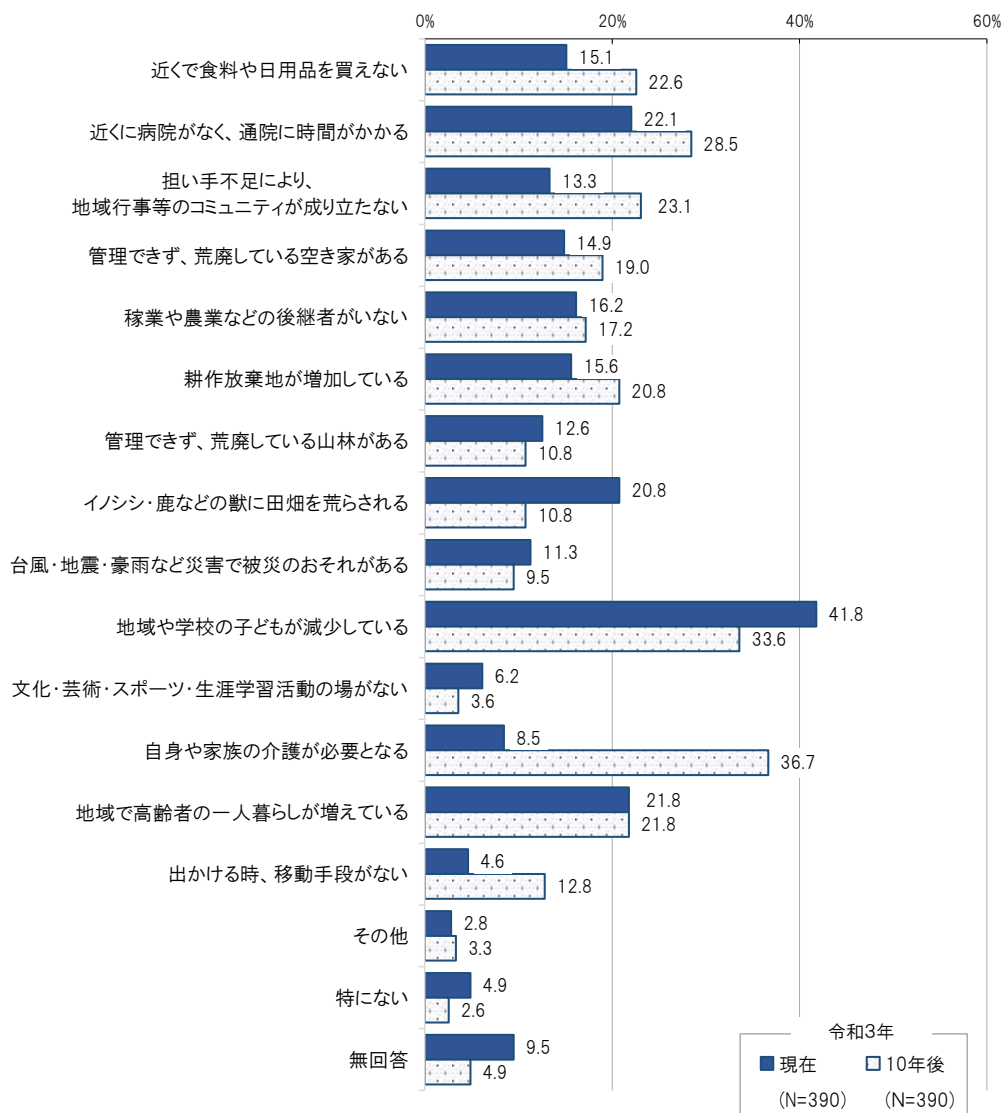
(2) 生活するうえで、不安なこと

問6 生活するうえで、現在、お困りのことや不安なことはありますか。また、10年後の生活を考えたとき不安なことはありますか。
 (「現在」「10年後」それぞれの項目ごとに、もっともあてはまるもの3つまでに○印)

現在では「地域や学校の子どもが減少している」(41.8%)、10年後では「自身や家族の介護が必要となる」(36.7%)が第1位

「生活するうえで困ること、不安なこと」について、現在では、第1位が「地域や学校の子どもが減少している」(41.8%)、次いで「近くに病院がなく、通院に時間がかかる」(22.1%)、「地域で高齢者の一人暮らしが増えている」(21.8%)、「イノシシ・鹿などの獣に田畑を荒らされる」(20.8%)、「稼業や農業などの後継者がいない」(16.2%)などの順となっています。

10年後では、第1位が「自身や家族の介護が必要となる」(36.7%)、次いで「地域や学校の子どもが減少している」(33.6%)、「近くに病院がなく、通院に時間がかかる」(28.5%)、「担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない」(23.1%)、「近くで食料や日用品を買えない」(22.6%)などの順となっています。



10年後では、現在の第12位であった「自身や家族の介護が必要となる」(36.7%)が、第1位となり、「担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない」(23.1%)も現在の第9位から第4位となり、第2位の「地域や学校の子どもが減少している」(33.6%)と人口減少、少子高齢化が起因となっている項目が上位に入ってきています。

■順位：生活するうえで困ること、不安なこと（現在及び10年後）

順位	現在		10年後	
	項目	値	項目	値
第1位	地域や学校の子どもが減少している	41.8%	自身や家族の介護が必要となる	36.7%
第2位	近くに病院がなく、通院に時間がかかる	22.1%	地域や学校の子どもが減少している	33.6%
第3位	地域で高齢者の一人暮らしが増えている	21.8%	近くに病院がなく、通院に時間がかかる	28.5%
第4位	イノシシ・鹿などの獣に田畑を荒らされる	20.8%	担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない	23.1%
第5位	稼業や農業などの後継者がいない	16.2%	近くで食料や日用品を買えない	22.6%
第6位	耕作放棄地が増加している	15.6%	地域で高齢者の一人暮らしが増えている	21.8%
第7位	近くで食料や日用品を買えない	15.1%	耕作放棄地が増加している	20.8%
第8位	管理できず、荒廃している空き家がある	14.9%	管理できず、荒廃している空き家がある	19.0%
第9位	担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない	13.3%	稼業や農業などの後継者がいない	17.2%
第10位	管理できず、荒廃している山林がある	12.6%	出かける時、移動手段がない	12.8%
第11位	台風・地震・豪雨など災害で被災のおそれがある	11.3%	管理できず、荒廃している山林がある	10.8%
第12位	自身や家族の介護が必要となる	8.5%	イノシシ・鹿などの獣に田畑を荒らされる	10.8%
第13位	文化・芸術・スポーツ・生涯学習活動の場がない	6.2%	台風・地震・豪雨など災害で被災のおそれがある	9.5%
第14位	出かける時、移動手段がない	4.6%	文化・芸術・スポーツ・生涯学習活動の場がない	3.6%

4 調査結果のまとめ

愛着度について

- 「愛着を感じている」が31.8%と最も多く、「どちらかといえば愛着を感じている」(32.5%)とあわせた“愛着を感じている”は64.3%。これに対して、“愛着を感じていない”(「どちらかといえば愛着を感じていない」(4.6%)及び「愛着を感じていない」(6.7%)の合計)は11.3%となっており、町への愛着度は比較的高い。
- 中学生との比較では、「愛着を感じている」では、一般町民は31.8%、中学生は35.7%となり、“愛着を感じている”では、一般町民の64.3%に対し、中学生は69.1%と、町への愛着度は中学生の方が高い。
- 年齢でみると、「愛着を感じている」では「70歳以上」が45.7%と最も高く、「30歳代」が16.3%と最も低い。
- 居住地区でみると、「愛着を感じている」では大きなちがいはないが、“愛着を感じている”では「竜山地区」(72.8%)が最も高く、「弓削地区」(57.8%)が最も低い。
- 居住歴でみると、「愛着を感じている」では「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」が50.8%と最も高く、「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(19.4%)と「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(12.1%)が低い。

定住意向について

- 「ずっと住み続けたい」が45.6%と最も多く、「当分は住みたい」(20.8%)とあわせた“住み続けたい”は66.4%。これに対して、“住みたくない”(「将来的には町外へ転居したい」(12.3%)及び「すぐにでも町外へ転居したい」(3.6%)の合計)は15.9%となり、町への定住意向はやや高いといえる。
- 中学生との比較では、「ずっと住み続けたい」では、一般町民の45.6%に対し、中学生は13.8%とかなり低い。“住み続けたい”では、一般町民の66.4%に対し、中学生は32.2%であり町への定住意向は低くなっている。中学生の「どちらともいえない」(36.8%)が高いことから、まだ定住については決めかねている状況といえ、「将来的には町外へ転居したい」(31.0%)も高く、一度は町外で住んでみて判断したい気持ちが伺える。
- 性別でみると、「ずっと住み続けたい」では「男性」(52.3%)が「女性」(41.0%)より高く、“住み続けたい”でも「男性」(71.1%)が「女性」(63.9%)より高く、「男性」の定住意向が高い。
- 年齢でみると、「ずっと住み続けたい」では「19歳以下」が11.3%と最も低く、「20歳代」(19.5%)と「30歳代」(23.3%)も低い。しかし、加齢とともに高くなり「70歳以上」が74.1%と最も高い。「将来的には町外へ転居したい」では、「30歳代」以下の若い年代が高い。
- 婚姻状況でみると、「ずっと住み続けたい」では「未婚」(21.6%)が「既婚」(59.3%)よりかなり低く、“住み続けたい”でも「未婚」(41.7%)が「既婚」(80.7%)よりかなり低い。ま

た、「未婚」の「将来的には町外へ転居したい」(22.3%)が高く、「未婚」者の改善が定住意向の向上につながるといえる。「子どもの有無」においても同様の傾向がみられる。

- 世帯構成でみると、「ずっと住みたい」では「夫婦のみ」が70.2%と最も高く、「親子(2世代)」(38.3%)が低い。“住みたい”でも「夫婦のみ」(90.4%)が最も高い。
- 居住地区でみると、「ずっと住みたい」では、「竜山地区」(57.6%)が最も高く、「神目地区」(41.6%)と「弓削地区」(44.1%)が低い。
- 居住歴でみると、「ずっと住みたい」では「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」が53.6%と最も高く、「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(37.9%)と「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」(36.2%)が低い。また、“住みたい”では「久米南町で生まれたが、町以外での居住経験がある」(73.2%)は「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」(63.2%)よりも高いことから、町外での居住経験が、久米南町の良さや魅力の再認識につながり、定住意向の高さに必ずついていると考えられる。

町の各環境に対する、現在の状況への満足度について

- 保健・医療・福祉、生活環境・安全、産業・観光、教育・文化、住民参画・行財政の5分野 29項目での評価では、満足度がプラス評価の項目が10項目、マイナス評価の項目が19項目。満足度が最も高い項目は「15. 上水道・下水道の整備」、次いで「7. 消防・防災対策の充実」、「14. ごみ処理・リサイクルの充実」の順。満足度が最も低い項目は「20. 雇用対策の充実」、次いで「18. 観光振興の充実」、「11. 公共交通の利便性」の順。
- 前回調査との比較では、上位3位まではほぼ同じ結果。今回調査では、第4位に「1. 健康づくり対策の充実」、第5位に「5. 高齢者福祉対策の充実」が入っている。前回よりも不満度が改善されて満足度が上がっている主なものは、「1. 健康づくり対策の充実」、「3. 子育て環境の充実」、「5. 高齢者福祉対策の充実」、「17. 農業・林業振興への取組」、「20. 雇用対策の充実」。

町の各環境に対する、今後の重視度について

- 重要度評価が最も高い項目は、「2. 医療体制の充実」、次いで「3. 子育て環境の充実」、「21. 教育環境の充実」の順。重要度の低い項目は、「24. 住民参画・官民協働への取組」、次いで、「25. 地域活動・外部交流の活性化」、「23. スポーツ振興への取組」の順。全体的にみると、保健・医療・福祉や生活環境・安全の分野を重要視する傾向があり、重要度の低い項目は住民参画・行財政の分野。
- 前回調査との比較では、前回の上位3位は「1. 健康づくり対策の充実」、「7. 消防・防災対策の充実」、「5. 高齢者福祉対策の充実」であり、大きく変わっている。前回よりも重要度が上がっているものは、「13. 定住対策の充実」で、重要度が下がっている主なものは、「1. 健康づくり対策の充実」、「5. 高齢者福祉対策の充実」など。

今後優先的に取り組むべき施策について

- 分野別では、保健・医療・福祉、生活環境・安全の分野の施策に対する優先度が高く、住民参画・行財政の分野の施策への優先度が低い。第1位は「2. 医療体制の充実」、次いで「11. 公共交通の利便性」、「20. 雇用対策の充実」、「3. 子育て環境の充実」、「13. 定住対策の充実」などの順。

町の目指すべきまちづくりについて

- 第1位が「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」(56.2%)、第2位が「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」(38.7%)、第3位が「道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり」(35.6%)の順。
- 前回調査との比較では、今回の選択肢に新たに追加された「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」(56.2%)が第1位。前回第1位の「移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり」は33.2ポイント、前回第2位の「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」は21.0ポイントの大きな減少。
- 中学生との比較では、「健康づくりと福祉」、「移住定住と交流」、「観光や産業など経済的発展」の3つのまちづくりの内容が、上位5位までに同様に入っている。
町民は「子育て支援や教育、担い手づくり」を中心に、「福祉関連」や「利便性の高い生活環境」の充実を図り、「移住定住」につなげ、「交流や観光、産業の振興を進め経済的に発展」したまちづくりを希望。
中学生は「自然や環境の保全」を中心に、自然と調和した、「交流や観光、産業の振興を進め経済的に発展」した、「歴史や文化」の香りがする、「福祉の充実」したまちづくりを希望。
- 年齢で見ると、第1位の「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」では、「30歳代」及び「40歳代」の意見が他の年代より多い。第2位の「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」では、「60歳代」及び「70歳代以上」の意見が他の年代より多い。第3位の「道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり」では、「60歳代」の意見が他の年代より多い。
- 居住歴で見ると、「生まれてからずっと久米南町に住んでいる」では、第2位の「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり」、「県内他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」では、第1位の「子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり」、「県外他市町村で生まれて、久米南町に転居してきた」では、第3位の「道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり」と第4位の「移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり」が他の居住歴より意見が多い。

生活するうえで、不安なことについて

- 現在では、第1位が「地域や学校の子どもが減少している」(41.8%)、次いで「近くに病院がなく、通院に時間がかかる」(22.1%)、「地域で高齢者の一人暮らしが増えている」(21.8%)、「イノシシ・鹿などの獣に田畑を荒らされる」(20.8%)、「稼業や農業などの後継者がいない」(16.2%)などの順。
- 10年後では、第1位が「自身や家族の介護が必要となる」(36.7%)、次いで「地域や学校の子どもが減少している」(33.6%)、「近くに病院がなく、通院に時間がかかる」(28.5%)、「担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない」(23.1%)、「近くで食料や日用品を買えない」(22.6%)などの順。
- 10年後では、現在の第12位であった「自身や家族の介護が必要となる」(36.7%)が第1位、「担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない」(23.1%)も現在の第9位から第4位、第2位が「地域や学校の子どもが減少している」(33.6%)となり、人口減少、少子高齢化が起因となっている項目が上位に入っている結果。

IV 自由記述

IV 自由記述、その他記述一覧等

自由記述、その他記述一覧等

(1) 町への愛着度と定住意向について

問3-1 住み続けたい理由は何ですか。

(9. その他)

- ・職場が近い。
- ・引っ越す理由がない。

問3-2 住みたくない理由は何ですか。

(9. その他)

- ・子育てはしやすいが、老後を考えると街に近い所へ行って住みたい。交通の場が不便。
- ・光回線がない。
- ・挨拶がない、態度も、治安も悪い。いじめなどに無頓着だから。
- ・役場の対応。水道代が高い(近隣より)。魅力度が全然ない。
- ・将来はどうなるかわからないため、しかし転居は考えている。
- ・一人暮らしをしたいから。
- ・就職が県外
など

(2) 目指すべきまちづくり等について

問5 これから久米南町はどのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。

(11. その他)

- ・高齢化に伴う諸問題を、地域と行政が密になり対処し、なんとか一人でも地域で暮らしていくことのできる町づくり。
- ・森や田畑の管理がもう少し楽にできる方法。
- ・もう少し、若者に力を入れた町づくり。
- ・農業振興
- ・いじめに対してしっかりと向き合うべき。
- ・多様な生き方が尊重される地域、町政。
- ・カッピ-を標榜するのであれば、もう少し観光面にも使っては。
- ・年とともに、だんだん出来なくなる田畑をどう活用できるか、今から、よい方法を。
- ・耳鼻科、眼科を作ってほしい。クリニックモールみたいな感じで、ホームセンターを作ってほしい。

- ・店が少ない。
- ・定住促進に力を入れるのではなく、地域で生まれ育った人のUターンに力を入れるべきではないでしょうか。
- ・働き先をつくる。

問6 生活するうえで、現在、お困りのことや不安なことはありますか。また、10年後の生活を考えたとき不安なことはありますか

【現在】

(15.その他)

- ・特になし

【10年後】

(15.その他)

- ・昔からの決まりごとが、若い世代家族と合わない。共働き世代にきつい。
- ・年金問題、老後の資金。
- ・草刈りが負担になっているが、やらないと荒れてしまうので、今のところなんとかしているが。息子に帰ってほしいけど、なかなかいい仕事はなさそうだし。
- ・いじめに対して向き合う。
- ・農道整備の補助金拡充。
- ・保育園や小学校の統合により、若い世代が、帰ってこなくなる。
- ・インフラ整備
など

(3) 自由意見について

問 22 あなたが久米南町で誇りに思うものや自慢できるもの、好きなどころ（風土・文化・観光地・特産品など）は何ですか。自由にご記入ください。

分野	誇りに思うもの・自慢できるもの・好きなどころ
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンター、道の駅、図書館、小学校・中学校の広い運動場、駅や学校、役場、クリニック、スーパー等 ・福祉施設が多い。(障がい者就労施設 A 型・高齢者入所・通所施設)
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通のよさ(岡山市への通学,通勤が可能) ・国道 53 号 ・JR(町内3駅)(同意見3)
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の教育(幼稚園と同じ教育) ・小中学校や保育園、家庭が密に連携し、地域もそれをよく参加している(同意見2) ・学校が町の特色に積極的に子ども達に関わりを持たせてくれているところ
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が多い。 ・高校までの医療費無料(同意見2) ・老人福祉、弱者への配慮がよくできている ・母子家庭の人たちが暮らしやすい町
地区	<ul style="list-style-type: none"> ・宮地のハス(同意見2) ・夏祭り・花火大会 ・河川敷の両岸桜 ・かっぱ大明神 ・誕生寺の奥のホタルの生息地(小川) ・花しょうぶ園 ・グランドゴルフ場の芝生(歩くのにとても気持ちがいい)
人柄	<ul style="list-style-type: none"> ・温かい雰囲気、親切(同意見8) ・人柄(同意見3) ・挨拶(同意見3) ・人情、近隣との助け合い ・子どもは素直で明るく伸びやかである
人権	<ul style="list-style-type: none"> ・差別のない対応(神目地区)
治安	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が少ない
マスコット	<ul style="list-style-type: none"> ・カッピーが弓削駅にたくさん飾っていること(同意見2)
自然	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か(同意見23) ・棚田(同意見3) ・雲海 ・気候
災害	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ない。(同意見7)
文化	<ul style="list-style-type: none"> ・川柳(同意見9) ・お会式など歴史的文化・行事が残っている(同意見2) ・文化遺産が多い ・古い物や文化を大切にしているところ
観光地	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生寺(同意見10) ・川柳公園(同意見3)
特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物は全国に誇れるものが数々ある。(同意見2) ・ゆず(同意見15) ・ぶどう(同意見14) ・きゅうり(同意見10) ・ゆずコロッケ(同意見4)

	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆずのダックわーずのお菓子 ・桃・柿・アスパガラス・ブロッコリー・マツタケ・ピオーネ ・中カうどんとピザも天ぷらも最高 ・川柳のかかれたのれん
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・平成の合併でどことも合併しなかったこと ・岡山県で一番人口の少ない町であること ・近くに何でもそろっているので困らないこと ・生活するのに困ることなく過ごせる町(買い物、公共交通機関など) ・町民の顔がわかる人が多い ・若者たちが生活に困らないまち ・町の歌はとてもいい ・のんびりしている ・平和 ・かっぱがでそう

問 23 久米南町のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

1. 保健・医療・福祉分野	まちづくりへの意見について
医療体制	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニックモールの検討 ・小児内科、小児歯科の検討 ・ワクチン接種(のりあい号の無料券)
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の充実 ・遊び場の充実(ブランコ、すべり台など)(同意見3) ・公園(同意見2) ・プールの再開 ・雨天時でも遊べる施設
地域での支え合い運動	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の草刈りの検討(子育てや仕事、家事などの家庭ではキツイ)
高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴う諸問題の解決に向けての尽力(同意見2) ・健康増進策 ・介護施設の増設
障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の割引制度を増やす。 ・デイサービスの利用日数を増やす。 ・通える環境づくり。
2. 生活環境・安全分野	まちづくりへの意見について
消防・防災対策	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車の増車
交通安全・防犯・消費者相談	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しの悪い道路(弓削駅~文化センター 53号)整備 ・道路にかぶる木を切る。
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地の活用、空き家対策(同意見5) ・町営住宅の修理(床)と整備(シャワーなど) ・公営住宅の入居制限に検討(独身者にも解放) ・弓削地区にコーポを。(年齢制限なし)
道路網	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備(利便性)
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利便性(同意見2) ・町内移動バス料金見直し。(300円は高い) ・停留所の名所の検討(〇〇宅前) ・部活後のバスのその後の検討
定住対策	<ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やす。 ・人口を増やそうとしている様子がある。
環境保全・省エネ	<ul style="list-style-type: none"> ・道路や川岸の除草は夏場の草刈りを業者に委託 ・自然を大切にす。

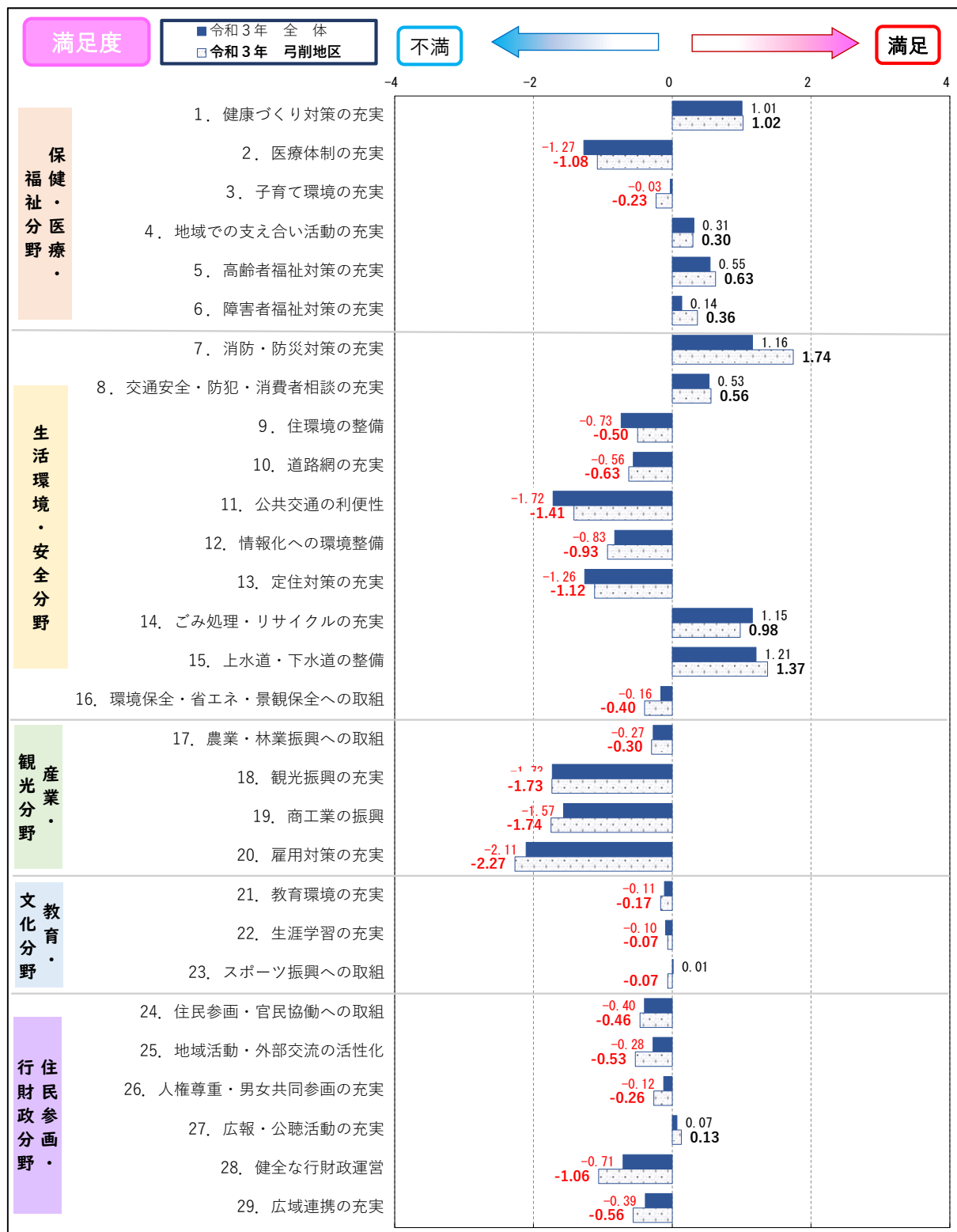
3.産業・観光分野	まちづくりへの意見について
農業・林業振興	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物のPRの強化 ・特産物の開発(同意見4) ・高齢者などの田畑家の管理方法の検討(同意見2)
観光産業	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家カフェやアートの活用(例、直島) ・道の駅で若者向けの商品の開発・販売
商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の跡地の活用 ・駅周辺の環境整備(同意見2) ・ツタヤ的な施設の検討(同意見2) ・ショップの要望(ホビ、ミリタリー、古本屋) ・国道沿いの空き店舗の再利用の検討
雇用対策	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物の加工工場の建設(ゆず、キュウリ、ブドウなど) ・若い後継者の育成 ・介護しながら働ける職場
4.教育・文化分野	まちづくりへの意見について
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・神目小の存続 ・小学校の統合(同意見5) ・統合先は神目に。 ・リモートを活用した教育体制 ・教育レベルの向上
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校で川柳の歴史を学ぶ機会を
5.住民参画・行財政分野	まちづくりへの意見について
住民参画・官民協同	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化のため担い手の減少と役割の検討 ・小中学校と連携できる環境づくり。
地域活動・外部交流	<ul style="list-style-type: none"> ・地区連絡委員等を減らす(核家族や勤務の関係で)(同意見2)
人権尊重・男女共同参画	<ul style="list-style-type: none"> ・職場でのパワハラ(同性同士) ・写真入りの成人者紹介はやめるべき。(プライバシー)
広報・公聴活動	<ul style="list-style-type: none"> ・カッピーの宣伝の強化
健全な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターの人員削減 ・水道代の2か月マトメの支払いはキツイ。 ・高齢者に配慮した税改革

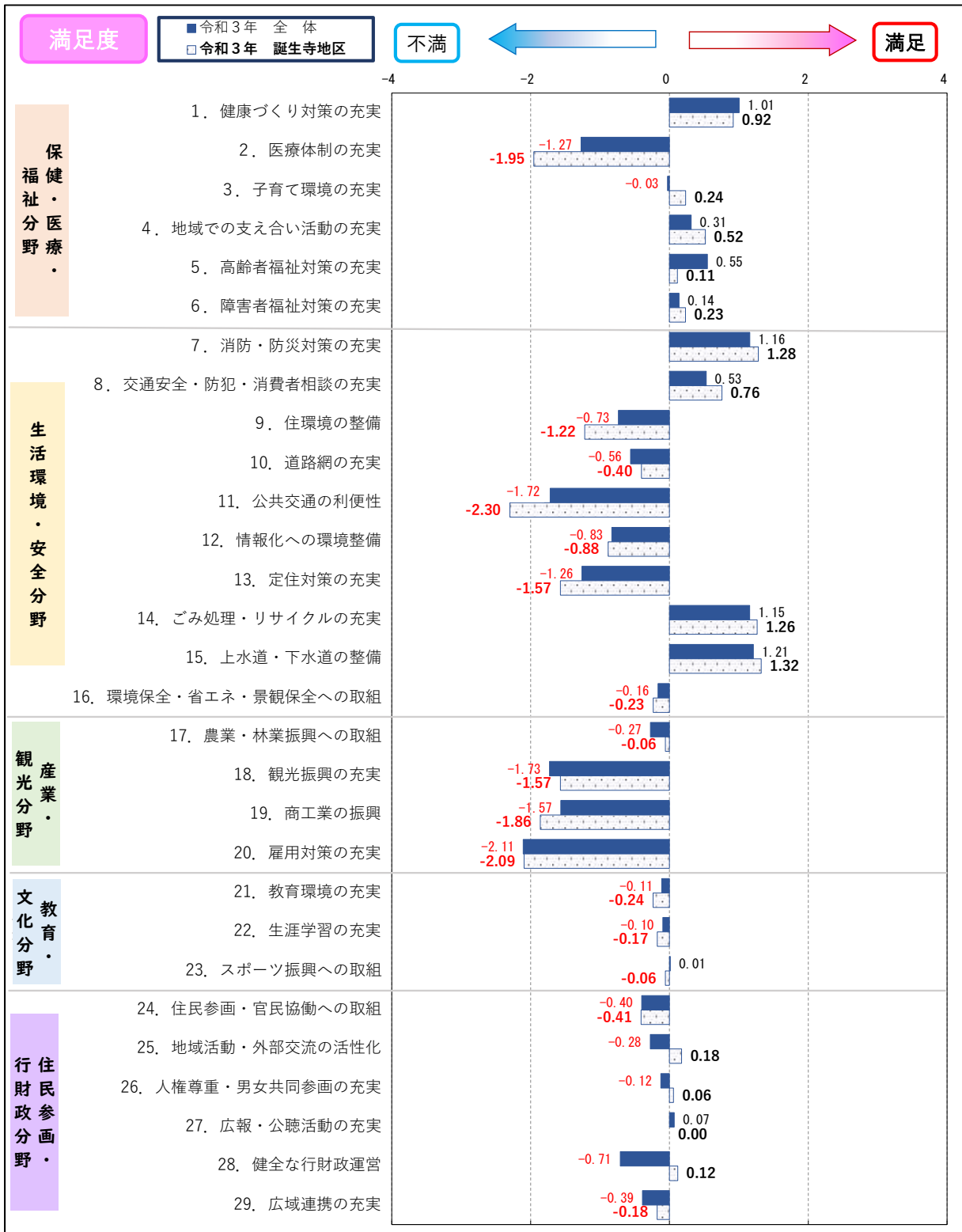
V 資料

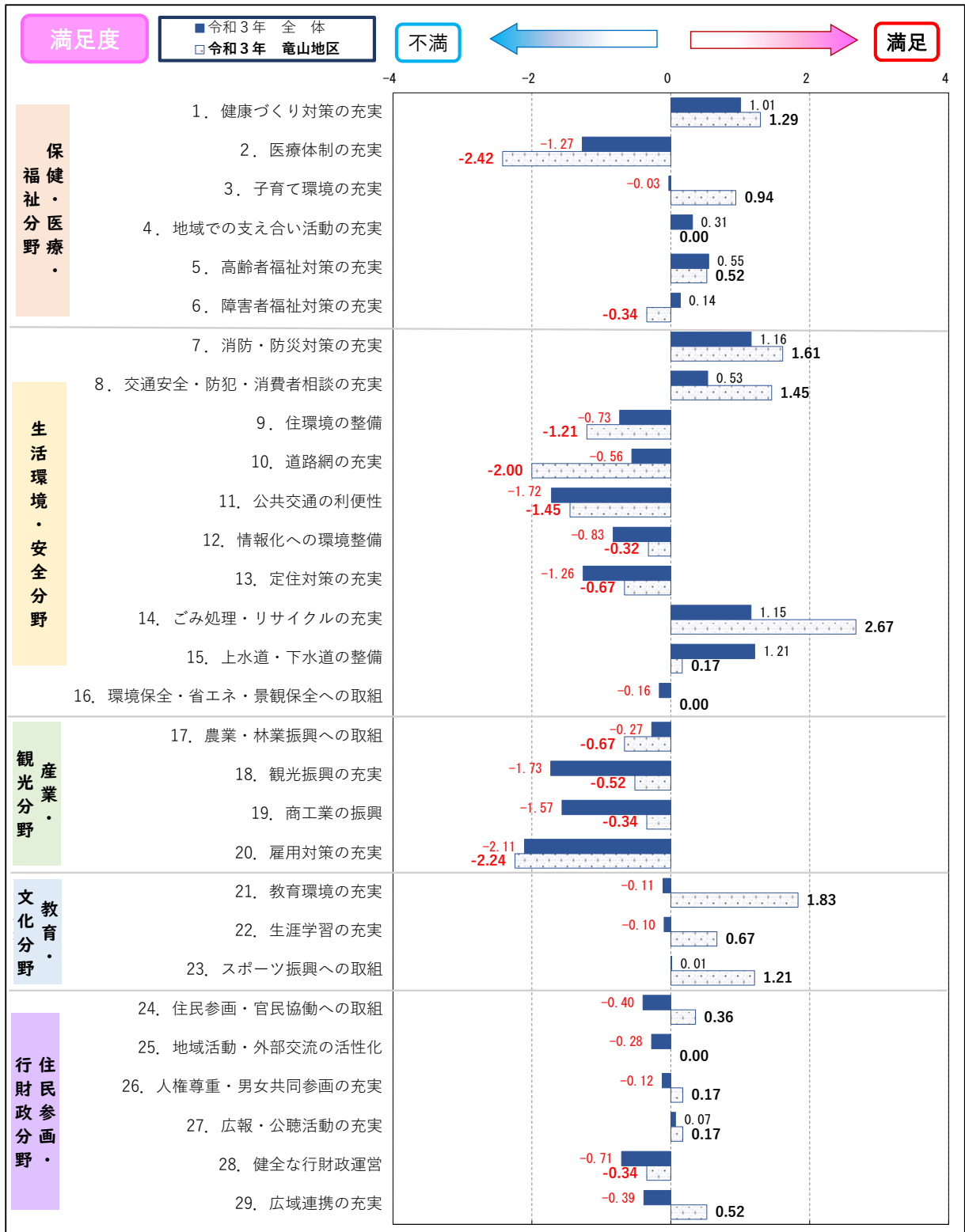
V 資料

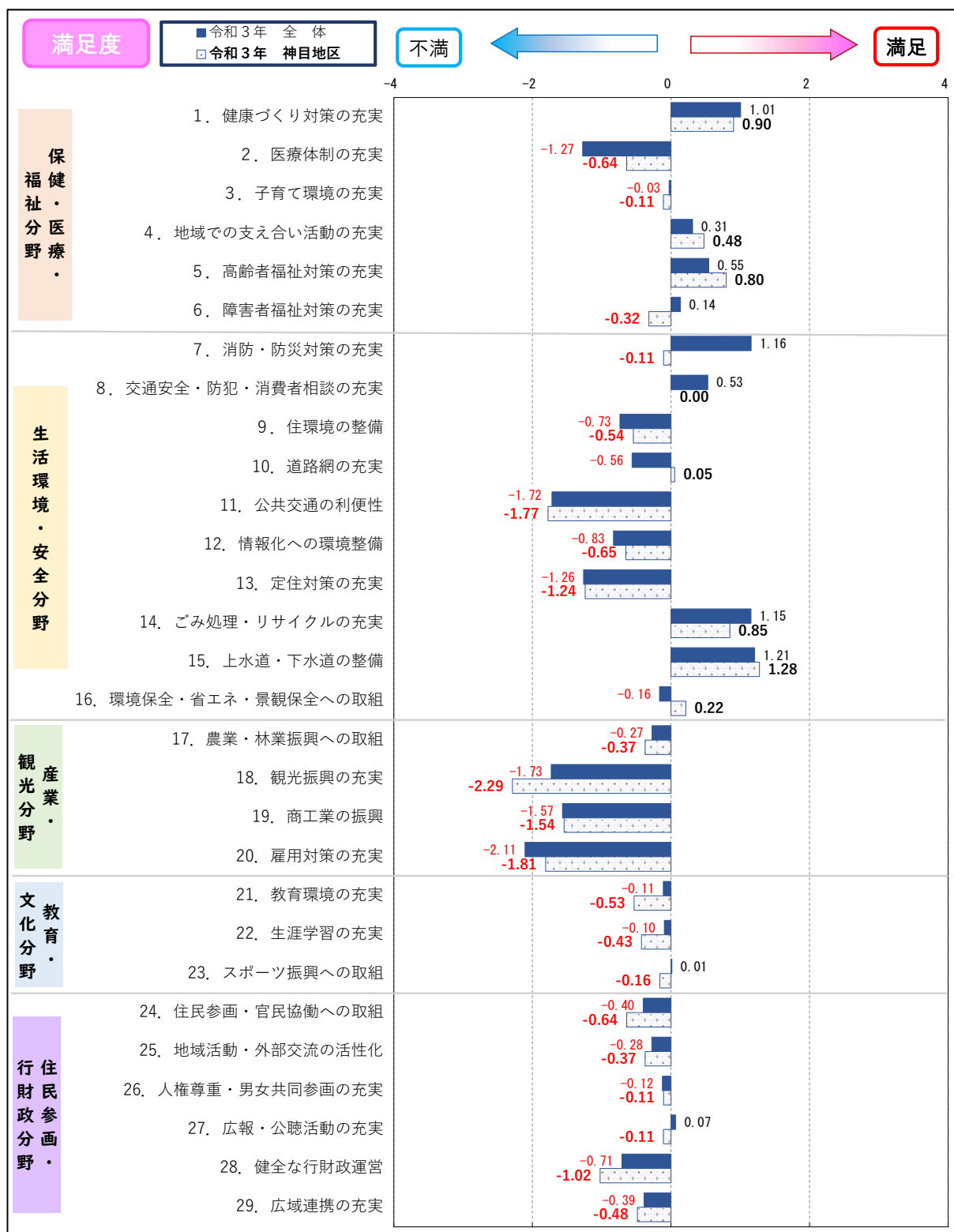
1 居住地区別結果

(1) 満足度

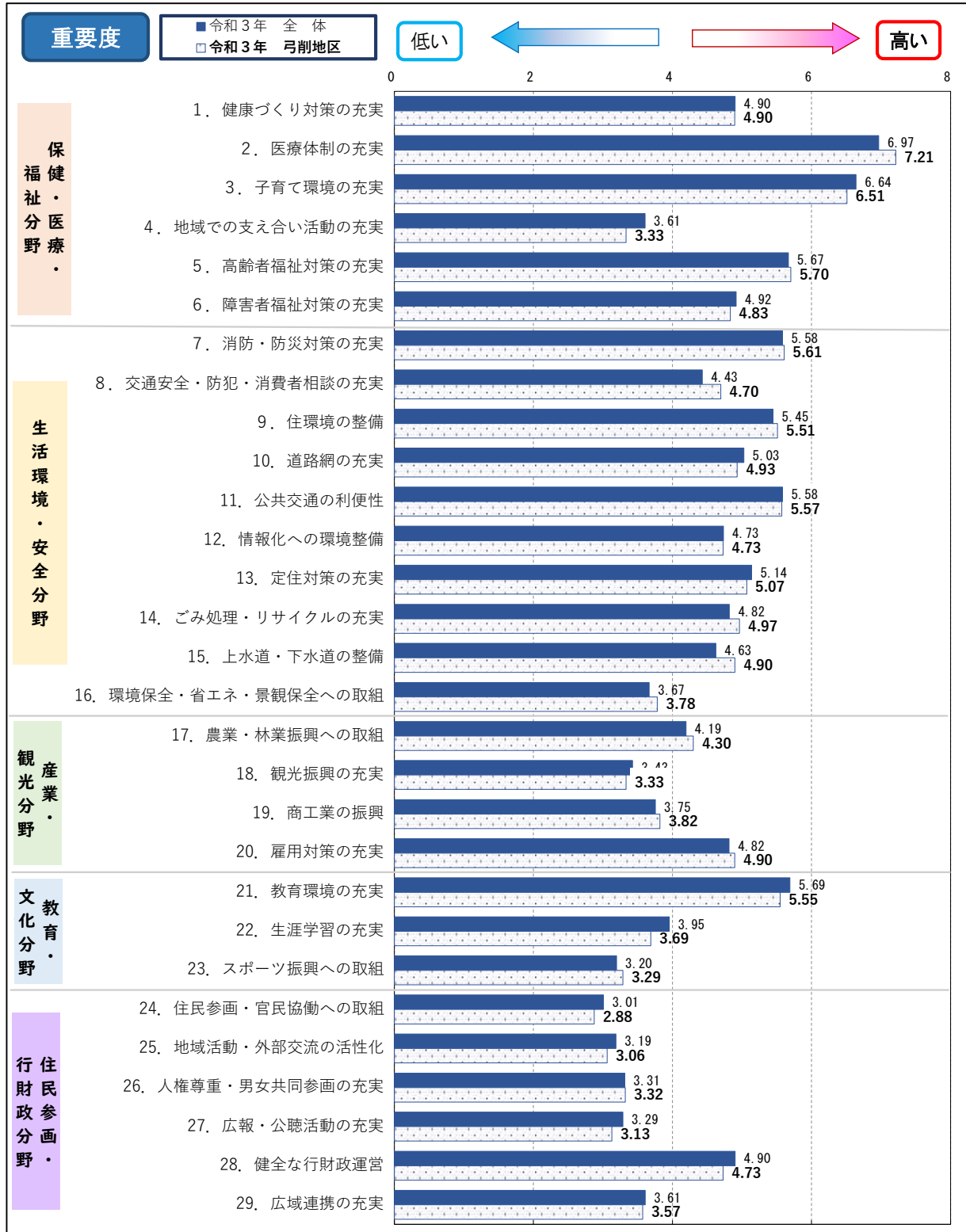


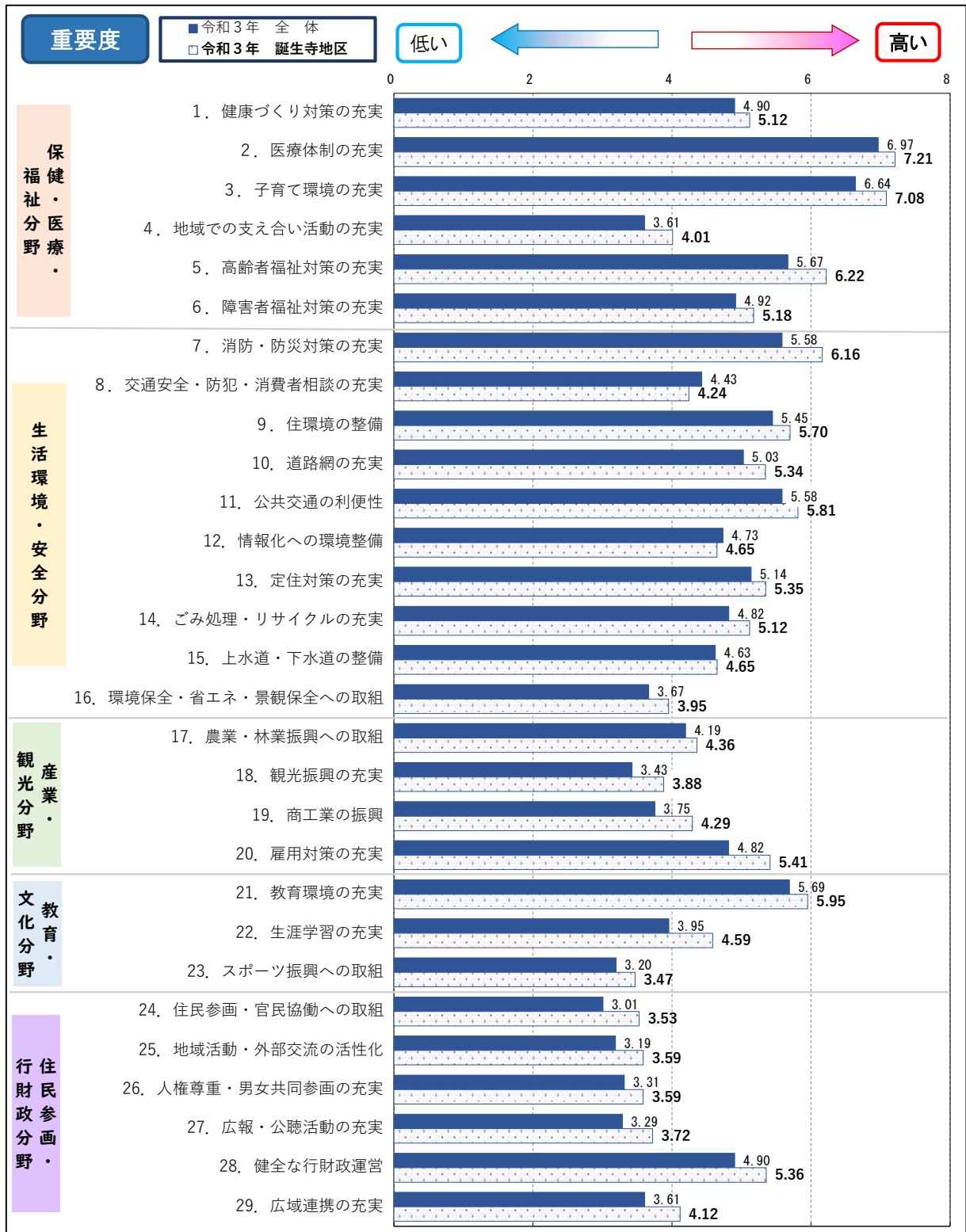


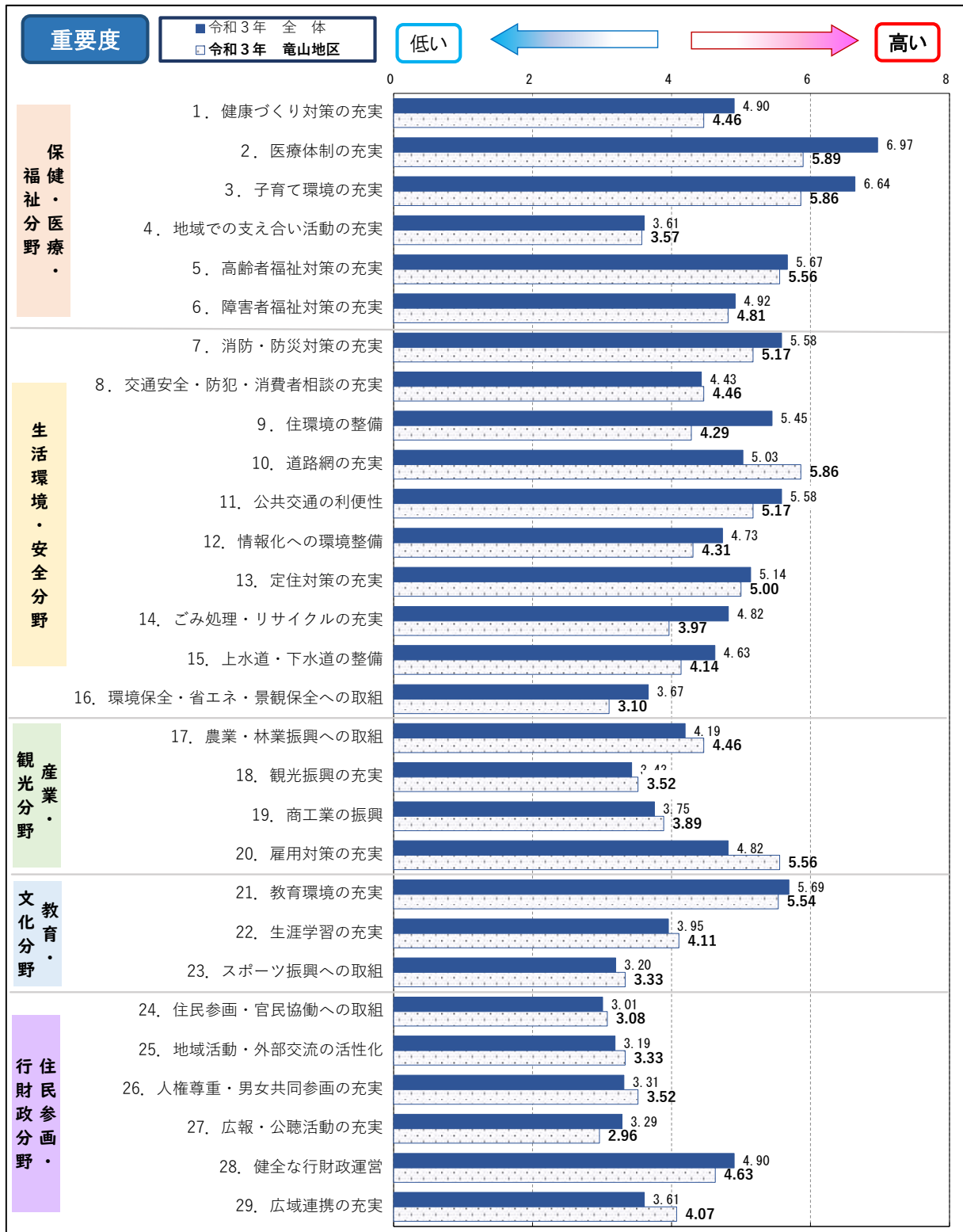


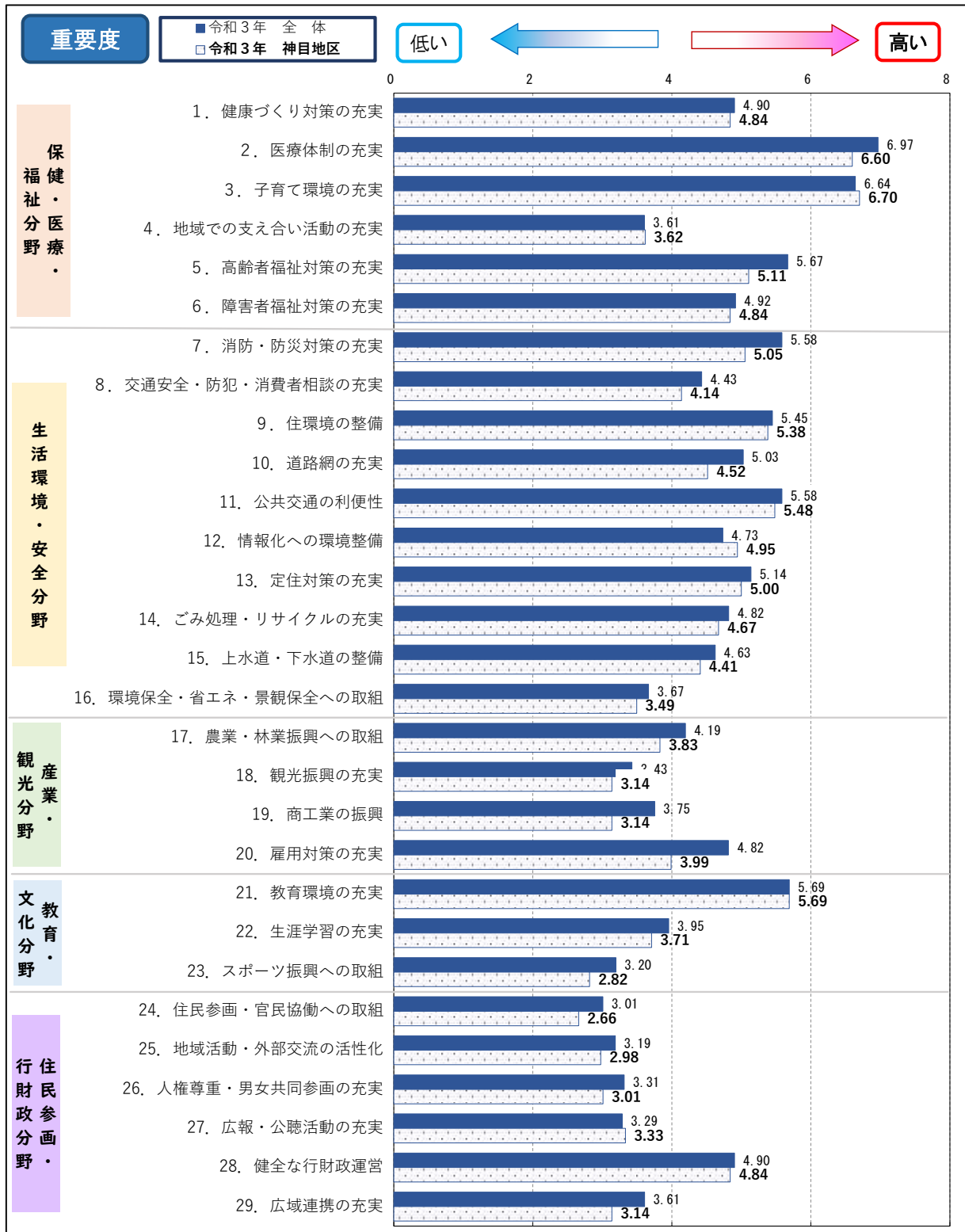


(2) 重要度









町民意識調査 ご協力のお願い

町民の皆さまには、日頃から町政について、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本調査は、「第6次久米南町振興計画（令和4年度から令和13年度まで）」及び「第3次久米南町男女共同参画基本計画（令和4年度から令和8年度まで）」の策定にあたり、町民皆さまの生活実態に関する意識、多様化する町民ニーズ、行政課題を把握するため、町が推進している施策の満足度や町政へのご意見などをお伺いし、計画策定の基礎資料とするために行うものです。

今回のアンケートをお願いする方は、久米南町にお住いの16歳以上の方々から1,000人を無作為に抽出させていただきました。（令和3年6月現在）

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、率直なご意見をお聞かせください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

令和3年7月

久米南町長 片山 篤

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒のあて名のご本人がお答えください。
2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（3つまでに○印）などそれぞれ指定されていますので、ご注意ください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例：①.）
3. お答えいただいた内容は統計的に処理し、プライバシーにかかわる内容を公表することはありません。
4. この調査へのご回答は **7月18日（日）** までに下記のいずれかの方法でお願いいたします。

① 調査票に記入の上、同封の返送用封筒（切手不要）で返送

② スマートフォンやパソコンで回答

<https://www.gyosei-machikoe.com/kumenan/surveys/>

③ 町ホームページから回答 (<https://www.town.kumenan.lg.jp>)

④ 調査票に記入のうえ、直接、役場総務企画課まで持参



5. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

久米南町総務企画課

電話：086-728-2111（代表）

FAX：086-728-2749

E-mail：soumukikaku@town.kumenan.lg.jp

振興計画とは

振興計画は、久米南町の今の状態を把握し、将来、どのような「まち」にしていくのか、そのために誰が、どんなことをしていくのか、を総合的・体系的にまとめたものです。

この計画は町政の最も基本となる計画で、町の福祉や子育て、都市基盤や環境、産業や教育といった全ての分野について、それぞれ個別の計画の基本となるものであり、いわば、町の「まちづくりを進めていくための道しるべ」といったものです。今後は、町のさまざまな施策や事業はこの計画にもとづいて進めていくことになります。

そこで、新しい振興計画を策定するにあたっては、町民のみなさんと一緒に「あるべきまちの姿」を描き、その姿を共有し、実現に向けて共に取り組んでいける計画書にしたいと考えています。

男女共同参画とは

男女共同参画とは、私たちが持っている「男らしさ」「女らしさ」についてのイメージ・意識・考え方にとらわれずに、互いにその人権を尊重しつつ、それぞれの個性と能力を発揮するとともに、喜びも責任も共に分かち合うことです。

近年は働き方の改革や女性活躍といった社会の変化により、男女のあり方等に対する意識も変わってきていることから、この度、意識調査を行い、男女の性別にとらわれず、一人ひとりの価値観に基づいた多様な生き方が尊重され、それぞれの能力や個性をあらゆる分野で十分発揮できる、男女が共に輝いて暮らせる社会の実現を目指していくものです。



町の施策への満足度と重要度についてお伺いします。

問4 久米南町の現在の状況（満足度）と今後のまちづくり（重要度）についておたずねします。（（1）満足度、（2）重要度について、それぞれの項目ごとに1つずつに○印）

項目	（1）満足度					→	（2）重要度				
	久米南町の今の状況についてどう思いますか						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか				
	満 足	や や 満 足	普 通	や や 不 満	不 満		重 要	あ る 程 度 重 要	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 重 要 で な い	重 要 で な い
1 保健・医療・福祉分野											
1. 健康づくり対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
2. 医療体制の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
3. 子育て環境の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
4. 地域での支え合い活動の充実 (ボランティア、サロン等)	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
5. 高齢者福祉対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
6. 障害者福祉対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
2 生活環境・安全分野											
7. 消防・防災対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
8. 交通安全・防犯・消費者相談の 充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
9. 住環境の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
10. 道路網の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
11. 公共交通の利便性	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
12. 情報化への環境整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
13. 定住対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
14. ごみ処理・リサイクルの充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
15. 上水道・下水道の整備	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
16. 環境保全・省エネ・景観保全への 取組	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目	評価						(1) 満足度					(2) 重要度				
	久米南町の今の状況についてどう思いますか						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか									
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要	ある程度重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない					
3 産業・観光分野																
17. 農業・林業振興への取組	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
18. 観光振興の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
19. 商工業の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
20. 雇用対策の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
4 教育・文化分野																
21. 教育環境の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
22. 生涯学習の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
23. スポーツ振興への取組	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
5 住民参画・行財政分野																
24. 住民参画・官民協働への取組	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
25. 地域活動・外部交流の活性化	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
26. 人権尊重・男女共同参画の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
27. 広報・公聴活動の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
28. 健全な行財政運営	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					
29. 広域連携の充実	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5					



町の住みやすさと地域の活性化に向けた取組についてお伺いします。

問5 これから久米南町はどのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。

(3つまでに○印)

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 1. | 地域が中心となり、行政と協力して地域活動を進める町民参画・協働のまちづくり |
| 2. | 観光や産業振興を図り、経済的な発展を目指すまちづくり |
| 3. | 子育て支援や学校教育を充実し、将来の担い手を育成するまちづくり |
| 4. | 歴史や文化を活かし、生涯学習が充実した文化のまちづくり |
| 5. | 健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者等が暮らしやすいまちづくり |
| 6. | 自然を守り、ごみ処理やリサイクルが充実した環境保全のまちづくり |
| 7. | 消防・防災・防犯に優れた安全・安心のまちづくり |
| 8. | 道路や公共交通の利便性を向上し、生活環境を充実させるまちづくり |
| 9. | 移住定住を促進し、広域的な連携に取り組む交流のまちづくり |
| 10. | 情報技術やAI、ロボットなどの最先端技術を活用したまちづくり |
| 11. | その他（具体的に： _____) |

問6 生活するうえで、現在、お困りのことや不安なことはありますか。また、10年後の生活を考えたとき不安なことはありますか。

(「現在」「10年後」それぞれの項目ごとに、もっともあてはまるもの3つまでに○印)

現在	10年後	生活するうえで、不安なこと
1.	1.	近くで食料や日用品を買えない
2.	2.	近くに病院がなく、通院に時間がかかる
3.	3.	担い手不足により、地域行事等のコミュニティが成り立たない
4.	4.	管理できず、荒廃している空き家がある
5.	5.	稼業や農業などの後継者がいない
6.	6.	耕作放棄地が増加している
7.	7.	管理できず、荒廃している山林がある
8.	8.	イノシシ・鹿などの獣に田畑を荒らされる
9.	9.	台風・地震・豪雨など災害で被災のおそれがある
10.	10.	地域や学校の子どもの減少している
11.	11.	文化・芸術・スポーツ・生涯学習活動の場がない
12.	12.	自身や家族の介護が必要となる
13.	13.	地域で高齢者の一人暮らしが増えている
14.	14.	出かける時、移動手段がない
15.	15.	その他（具体的に： _____)
16.	16.	特にない

男女共同参画の考え方・感じ方についてお伺いします。

問7 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。
(1つに○印)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. わからない
4. どちらかといえば反対
5. 反対

問8 (I)～(VI)の各分野で男女が平等になっていると感じますか。
((I)～(VI)の、それぞれの分野ごとに1つずつに○印)

	男性が優遇 されている	どちらか といえば 男性が優遇	平等に なっている	どちらか といえば 女性が優遇	女性が優遇 されている	わからない
(I) 家庭	1	2	3	4	5	6
(II) 職場	1	2	3	4	5	6
(III) 政治	1	2	3	4	5	6
(IV) 学校	1	2	3	4	5	6
(V) 地域	1	2	3	4	5	6
(VI) 慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6

家庭における男女平等についてお伺いします。

問9-A あなたの家庭では現在、(I)～(VII)の「家庭の仕事」は男女のどちらが主に担当
していますか。((I)～(VII)の、それぞれの項目ごとに1つずつに○印)

	主として 男性	どちらか といえば男性	同じ程度	どちらか といえば女性	主として 女性	いずれにも 該当しない
(I) 生活費を得る	1	2	3	4	5	6
(II) 掃除・洗濯をする	1	2	3	4	5	6
(III) 食事のしたくをする	1	2	3	4	5	6
(IV) 食事の片づけをする	1	2	3	4	5	6
(V) 子どもなどの世話・教育	1	2	3	4	5	6
(VI) 高齢者などの介護	1	2	3	4	5	6
(VII) 地域活動への参加	1	2	3	4	5	6

問9-B あなたは（Ⅰ）～（Ⅶ）の「家庭の仕事」は男女のどちらが主に担当すべきだとお考えですか。（Ⅰ）～（Ⅶ）の、それぞれの項目ごとに1つずつに○印）

	主として男性	どちらかといえば男性	同じ程度	どちらかといえば女性	主として女性
（Ⅰ）生活費を得る	1	2	3	4	5
（Ⅱ）掃除・洗濯をする	1	2	3	4	5
（Ⅲ）食事のしたくをする	1	2	3	4	5
（Ⅳ）食事の片づけをする	1	2	3	4	5
（Ⅴ）子どもなどの世話・教育	1	2	3	4	5
（Ⅵ）高齢者などの介護	1	2	3	4	5
（Ⅶ）地域活動への参加	1	2	3	4	5

問10 男性が子育てや家事に参加することについて、あなたはどうお考えですか。（1つに○印）

1. 積極的に参加すべき
2. どちらかといえば積極的に参加すべき
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば積極的に参加すべきでない
5. 積極的に参加すべきでない

問11 今後、男性と女性が共に子育てや家事へ積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（もっともあてはまるもの2つまでに○印）

1. 社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
3. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
4. 夫婦間で分担について十分に話し合うこと
5. 小さな頃から男女で家事等を分担するよう育てること
6. 男女共同参画に対する関心を高めること
7. 男性が家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
8. その他（具体的に： _____)

就労における男女平等についてお伺いします。

問12 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのようにお考えですか。
(1つに○印)

1. 出産や結婚、育児に関係なく職業を持った方がよい
2. 結婚するまで、職業を持った方がよい
3. 子どもができるまで、職業を持った方がよい
4. 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら、再び職業を持った方がよい
5. 職業を持たない方がよい
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない・特にない

問13 一般的に、職場において企画や方針決定の場に女性が少ない傾向にありますが、その理由は何だと思えますか。（もっともあてはまるもの2つまでに○印）

1. 社会通念や風習が強く残っているから
2. 仕事と家庭を両立できる社会支援制度が十分でないから
3. 女性に対する研修等が不十分だから
4. 女性の側に積極性が欠けているから
5. 男性優位の組織になっているから
6. その他（具体的に： _____）

問14 職場での地位について、性別による差をなくすためにはどのようなことが必要だと思えますか。（もっともあてはまるもの2つまでに○印）

1. 職場において女性を積極的に登用すること
2. 働く本人が仕事に対する意識改革をすること
3. 男女平等意識の向上のために職場で教育や啓発を実施する
4. 仕事と家庭を両立できる支援制度を拡充すること
5. 育児休暇や介護休暇などが取りやすいよう環境の整備、充実を行う
6. 女性に機会が平等に与えられ、知識や技術を身につけること
7. その他（具体的に： _____）

仕事と家庭のバランスについてお伺いします。

問15 あなたは何らかの理由により退職や、転職をしたことがありますか？また、その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 結婚
2. 出産・育児
3. 介護・看病
4. 会社の都合
5. 労働時間・環境等への不満
6. 人間関係
7. 健康問題
8. やめたことはない
9. その他（具体的に： _____）

問16 仕事と家庭を両立するためにはどのような条件整備が必要であると思いますか。（もっともあてはまるもの2つまでに○印）

1. 病児保育・学童保育などのサービスを拡充する
2. 介護のための施設やサービスを拡充する
3. 結婚や出産で退職した人の再雇用制度を充実する
4. 労働時間の短縮や休日増加の制度を拡充する
5. 育児や介護のための休暇制度を充実する
6. 残業の減少や休暇を取得しやすい職場環境を整備する
7. 相談窓口を設ける
8. 労働条件の男女差をなくす
9. 研修、訓練の機会を増やす
10. その他（具体的に： _____）

セクシュアル・ハラスメント、DVについてお伺いします。

●セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)●

職場などで、相手方の意に反する性的言動によって相手方に不快感や苦痛を与える行為のこと。

●DV(ドメスティック・バイオレンス)●

配偶者や内縁関係や交際相手など親密な関係にある、又あった者や、両親・子・兄弟・親戚などの家族から受ける暴力のこと。

問17 あなたの身近なところにセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）がありますか。（1つに○印）

1. 自分自身が受けたことがある	}	問17-1へ
2. 自分自身がしたことがある		
3. 見たり聞いたりしたことがある		
4. ない	→	問18へ

【問17で「1. 自分自身が受けたことがある」または「2. 自分自身がしたことがある」、または「3. 見たり聞いたりしたことがある」に○をつけた方に伺います。】

問17-1 その内容はどのようなものでしたか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 性的な経験についてしつこく聞かれた
2. 容姿や服装について不快なことを言われた
3. 立場を利用してデートや性的な関係を強要された
4. 体を触られた
5. 性的な冗談や冷やかしを言われた
6. お酌やデュエットを強要された
7. ヌード写真などを見せられた
8. その他（具体的に： _____）

問18 DV（ドメスティック・バイオレンス）が社会問題になっていますが、あなたの身近にこのような暴力がありますか。（1つに○印）

1. 自分自身が受けたことがある	}	問18-1へ
2. 自分自身がしたことがある		
3. 見たり聞いたりしたことがある		
4. ない	→	問20へ

【問18で「1. 自分自身が受けたことがある」または「2. 自分自身がしたことがある」、または「3. 見たり聞いたりしたことがある」に○をつけた方に伺います。】

問18-1 その内容はどのようなものでしたか。（あてはまるものすべてに○印）

1. 身体的暴行（髪をひっぱる、殴る、刃物などで脅す、家具を壊すなど）
2. 精神的攻撃（大声でののしる、見下す、無視する、性別による役割を決めつける、大切にしているものを壊したり捨てたりするなど）
3. 性的強要（性的行為を強要する、避妊に協力しない、ポルノ雑誌やビデオを見せるなど）
4. 社会的暴力（電話・メールなどをチェックする、外出や交友関係を制限するなど）
5. 経済的圧迫（生活費を渡さない・使わせない、収入を取り上げる、就労を妨げるなど）
6. 子どもを巻き込んだ暴力（子どもの前で相手をばかにする・責める、子どもへの暴力をほのめかし脅す、親権を渡さないと脅すなど）
7. その他（具体的に： _____）

【問17または問18で「1. 自分自身が受けたことがある」に○をつけた方に伺います。】

問19 そのことについて誰かに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 知人や友人
2. 家族や親戚
3. 警察
4. 公的相談窓口(配偶者暴力相談支援センター、役所など)
5. 民間の専門家や専門機関(弁護士、カウンセラーなど)
6. 医療関係者
7. その他(具体的に: _____)
8. 誰にも相談しなかった —————→ **問19-1へ**

【問19で「8. 誰にも相談しなかった」に○をつけた方に伺います。】

問19-1 誰(どこ)にも相談しなかったのは、なぜですか。

(あてはまるものすべてに○印)

1. 相談するほどのことではないと思ったから
2. 自分にも悪いところがあると思ったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 自分が我慢さえすればいいと思ったから
5. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
6. 思い出したくなかったから
7. 愛情表現だと思ったから
8. 誰(どこ)に相談してよいかわからなかったから
9. 他人に知られたくなかったから
10. 相手の仕返しが怖かったから
11. その他(具体的に: _____)



男女共同参画に関する行政施策等についてお伺います。

問20 男女共同参画に関して、行政に今後どのような施策を期待しますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 役所内の政策決定の場に女性を多く登用する
2. 子育て支援の施策を充実する
3. 男女共同参画の視点に立った教育や学習をすすめる
4. 男性への意識啓発及び相談を充実する
5. 女性のための相談を充実する
6. 就労における男女の機会均等
7. DVなど暴力を根絶するための支援を促進する
8. その他(具体的に： _____)

問21 男女共同参画社会の推進についてご意見がありましたら、自由にご記入ください。



自由意見についてお伺いします。

問22 あなたが久米南町で誇りに思うものや自慢できるもの、好きなところ（風土・文化・観光地・特産品など）は何ですか。自由にご記入ください。

問23 久米南町のまちづくりについてご意見がありましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入済のアンケートは同封の返信用封筒に入れて

7月18日（日）までに

ご投函もしくは直接、役場総務企画課までご持参、

または Web サイトにてご回答してください。

